北杜市環境保全基金活用事業

八ヶ岳南麓の野鳥 2020

野鳥センサス調査のまとめ



2008-2019年　清里湖　マガモ



2009-2019年　井富ため池　オオマシコ



2008-2019年
八ヶ岳南麓
ルリビタキ

野鳥の数が少なくなっているのではないかと言われていますが、実際はどうなのでしょうか？これまで八ヶ岳南麓における野鳥の調査データはほとんどありませんでした。

野鳥たちの生息状況や生息環境を把握するために、八ヶ岳野鳥クラブでは2008年から清里湖周辺で12年間、井富ため池周辺で11年間、毎月1回の調査、観察を実施しましたその調査結果をこの冊子にまとめてみました。個々の野鳥の動向をまとめた「北杜市鳥類目録」を現在編集中です。この調査は今後も継続します。

野鳥たちも安心して暮らせる自然豊かな環境を次世代に残したいものです。

Today Birds , Tomorrow Men

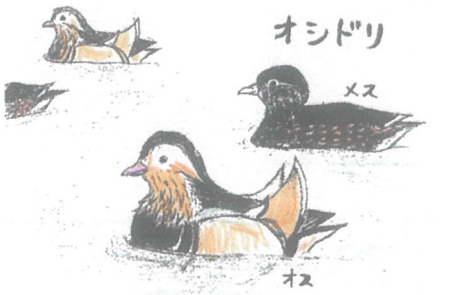
野鳥たちが暮らせる環境は人間にとっても大切です。

2020年1月　八ヶ岳野鳥クラブ

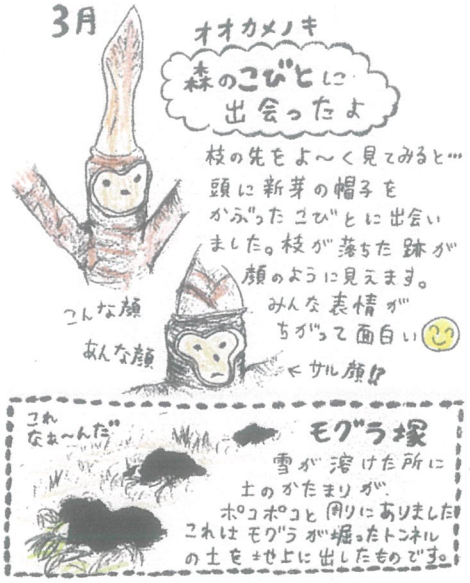
友香の自然スケッチ

清里だより 3月

山梨県の清里にある大門ダムに行きました。湖面を見渡すと なんと オシドリが約300羽もいました!!!



こんなに多くのオシドリを見たのは初めてでした。1月に来た時は、湖が全面凍結していたのですが、もうすっかり溶けて、カモたちも春を感じたカモ



枝の先をよ～く見てみると…頭に新芽の帽子をかぶったこびとに出会いました。枝が落ちた跡が顔のように見えます。みんな表情がちがって面白い

雪が溶けた所に土のかたまりがポコポコと周りにありました。これはモグラが掘ったトンネルの土を地上に出したものです。

友香の自然スケッチ

八ヶ岳の自然

八ヶ岳へ行ってきました！自然が豊かで野生生物と出会うことができました。



この調査報告書の内容や野鳥たちの動向など、お気づきの点がございましたら、下記へご連絡ください。この冊子はコピーフリーです。興味のある方にご紹介していただけましたら、うれしいです。

問い合わせ・連絡先　　八ヶ岳野鳥クラブ代表　竹内　時男
メール　tokio818t@yahoo.co.jp

2020年1月吉日発行　頒価500円

清里湖の野鳥2020

野鳥センサス調査　2008-2019 年の記録



ミヤマホオジロ

2008 年から清里湖周辺で 12 年間、毎月 1 回の調査、観察を行いました。その結果、99 種の野鳥が記録されました。これは山梨全県で確認された 266 種のおよそ三分の一にあたります。

12 年間のデータをまとめてみました。清里湖における野鳥たちの動向が少し分かってきました。

今、調査地付近では中部横断道路の建設計画があります。工事中や、建設後は野鳥たちへの影響があると思われます。野鳥たちが、いつまでも安心して暮らせる自然豊かな環境を次の世代に残したいものです。

Today Birds , Tomorrow Men

野鳥たちが暮らせる環境は人間にとっても大切です。

2020 年 1 月　八ヶ岳野鳥クラブ

1. 調査コースと調査方法

調査地は山梨県西北部、北杜市高根町にあり、大門川を堰き止めて造られた清里湖の周辺である。調査コースは、ダムサイトの駐車場を起点として、清里湖北岸の舗装道路を歩く。前半の約 1km は湖岸から離れ高台の道を進む。両側は斜面林や藪になっている。後半の約 1km は湖岸沿いの道となる。清里湖は例年 1 月中旬から 2 月下旬までの期間は全面結氷することが多い。

調査方法は日本野鳥の会神奈川支部で実施している定線センサスに準じている。毎月 1 回、雨天日を避け、午前中に終了するように実施した。図 1 に示す約 2km の調査コースを歩き、見聞きした鳥の種類、個体数及び行動を記録した。通常のセンサス調査はコースの両側 25m の範囲であるが、広い湖面があるので、ここでは見聞きできた範囲の鳥を記録した。調査は同じコースを往復する。復路では、記録の重複を避けるために往路で記録のなかった種類だけを付け加えた。調査には双眼鏡及び望遠鏡を使用した。



図 1 調査コース図

2. 調査結果の概要

2008 年から 2019 年まで、12 年間毎月 1 回、計 144 回の調査結果を以下にまとめた。

(1) 記録された種類と個体数

12 年間で記録された鳥は 14 目、35 科、99 種、21057 羽であった。記録された種類と総個体数の一覧を表 1 に示した。種類数は日本鳥類目録改第 7 版に記載されている日本の野鳥 633 種のおよそ 16%、山梨県内で記録された 266 種のおよそ 37%にあたる。

データは調査時に記録された数だけである。他の時間帯には夜行性であるフクロウも観察されている。

表1 記録された種類と個体数

目	科	和名	個体数
キジ目	キジ科	ヤマドリ	2
カモ目	カモ科	オシドリ	5493
		ヨシガモ	1
		ヒドリガモ	282
		アメリカヒドリ	2
		マガモ	4065
		カルガモ	917
		ハシビロガモ	1
		オナガガモ	8
		シマアジ	2
		コガモ	109
		ホシハジロ	45
		キンクロハジロ	79
		スズガモ	1
		カワアイサ	9
カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ	68
		ハジロカイツブ	3
ハト目	ハト科	キジバト	112
		アオバト	1
カツオドリ目	ウ科	カワウ	636
ペリカン目	サギ科	アオサギ	567
		ダイサギ	5
		チュウサギ	1
		コサギ	4
ツル目	クイナ科	バン	1
		オオバン	10
カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ	1
		ホトトギス	4
		ツツドリ	1
		カッコウ	5
チドリ目	シギ科	クサシギ	1
		イソシギ	1
タカ目	タカ科	ハチクマ	1
		トビ	147
		ハイタカ	1
		オオタカ	8
		サシバ	1
		ノスリ	23
ブッポウソウ目	カワセミ科	アカショウビン	1
		カワセミ	26
		ヤマセミ	5
キツツキ目	キツツキ科	コゲラ	173
		アカゲラ	133
		アオゲラ	37
ハヤブサ目	ハヤブサ科	チョウゲンボウ	2
		ハヤブサ	1
スズメ目	サンショウクイ科	サンショウクイ	56
	カササギヒタキ科	サンコウチョウ	1
	モズ科	モズ	25
	カラス科	カケス	218
		ハシボソガラス	88
		ハシブトガラス	123
	シジュウカラ科	コガラ	66
		ヤマガラ	130
		ヒガラ	63
		シジュウカラ	677
	ヒバリ科	ヒバリ	3
	ツバメ科	ツバメ	132
		イワツバメ	1283
	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	888
	ウグイス科	ウグイス	107
		ヤブサメ	1
	エナガ科	エナガ	275
	ムシクイ科	センダイムシクイ	22
	メジロ科	メジロ	267
	ゴジュウカラ科	ゴジュウカラ	42
	ミソサザイ科	ミソサザイ	1
	カワガラス科	カワガラス	8
	ヒタキ科	トラツグミ	3
		クロツグミ	10
		シロハラ	19
		ツグミ	80
		コルリ	1
		ルリビタキ	4
		ジョウビタキ	102
		コサメビタキ	2
		キビタキ	47
		オオルリ	27
	イワヒバリ科	イワヒバリ	9
		カヤクグリ	269
	スズメ科	スズメ	68
	セキレイ科	キセキレイ	114
		ハクセキレイ	182
		セグロセキレイ	104
	アトリ科	アトリ	29
		カワラヒワ	633
		マヒワ	10
		ベニマシコ	22
		オオマシコ	2
		ウソ	5
		シメ	5
		イカル	79
	ホオジロ科	ホオジロ	707
		カシラダカ	739
		ミヤマホオジロ	24
		アオジ	51
		オオジュリン	2
キジ目	キジ科	コジュケイ	3
スズメ目	チメドリ科	ガビチョウ	233
14目	35科	99種	21057羽

赤字　外来種

(2) 季節区分

留鳥が最も多く、冬鳥、夏鳥、旅鳥の順であった。調査地内に湖があり、冬期飛来するカモたちも多く、冬鳥の割合も高い。

季節の区分は清里湖におけるものであり、日本全体や他の地方とは異なる場合がある。複数の区分にあてはまる鳥類もあるが、ここでは主な区分を一つ選び、一覧を表 3 に示した。

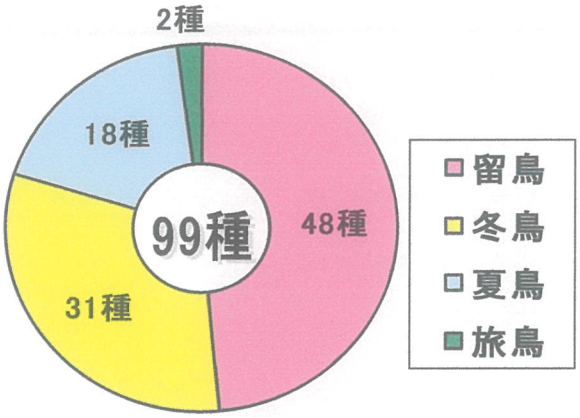


図2 季節区分

(3) 出現率

個体数とは関係なく、観察時にその種が出現した月数の割合が出現率である。表 2 に上位 20 種を示した。ヒヨドリは 96%の出現率で、ほぼ毎回出会えたことになる。一年中見られる留鳥が上位を占めている。144 回の調査で、1 回だけの記録の野鳥も 25 種ある。(値は小数点以下四捨五入)

表 2 出現率（上位 20 種）

順	種　名	出現率 %	順	種　名	出現率 %
1	ヒヨドリ	96	10	ハクセキレイ	63
2	シジュウカラ	90	12	アオサギ	58
3	ホオジロ	88	13	ハシブトガラス	58
4	ガビチョウ	80	14	アカゲラ	56
5	カルガモ	74	15	マガモ	56
6	コゲラ	73	16	ヤマガラ	51
6	カワラヒワ	73	17	カケス	48
8	トビ	70	18	キジバト	47
9	カワウ	65	18	エナガ	47
10	オシドリ	63	20	キセキレイ	46

(4) 優占度

その種が総個体数の中で占める割合を種別優占度として、表 1 の個体数の上位 20 種を図 3 に示した。集団で行動することが多い水鳥が多くを占めている。オシドリとマガモの上位 2 種だけで 9558 羽と総個体数の約 47%を占めている。また、カシラダカ、ホオジロ、カワラヒワなど、群れで行動する鳥も多くを占めている。逆に、1 羽だけの記録にとどまった鳥も 19 種あった。

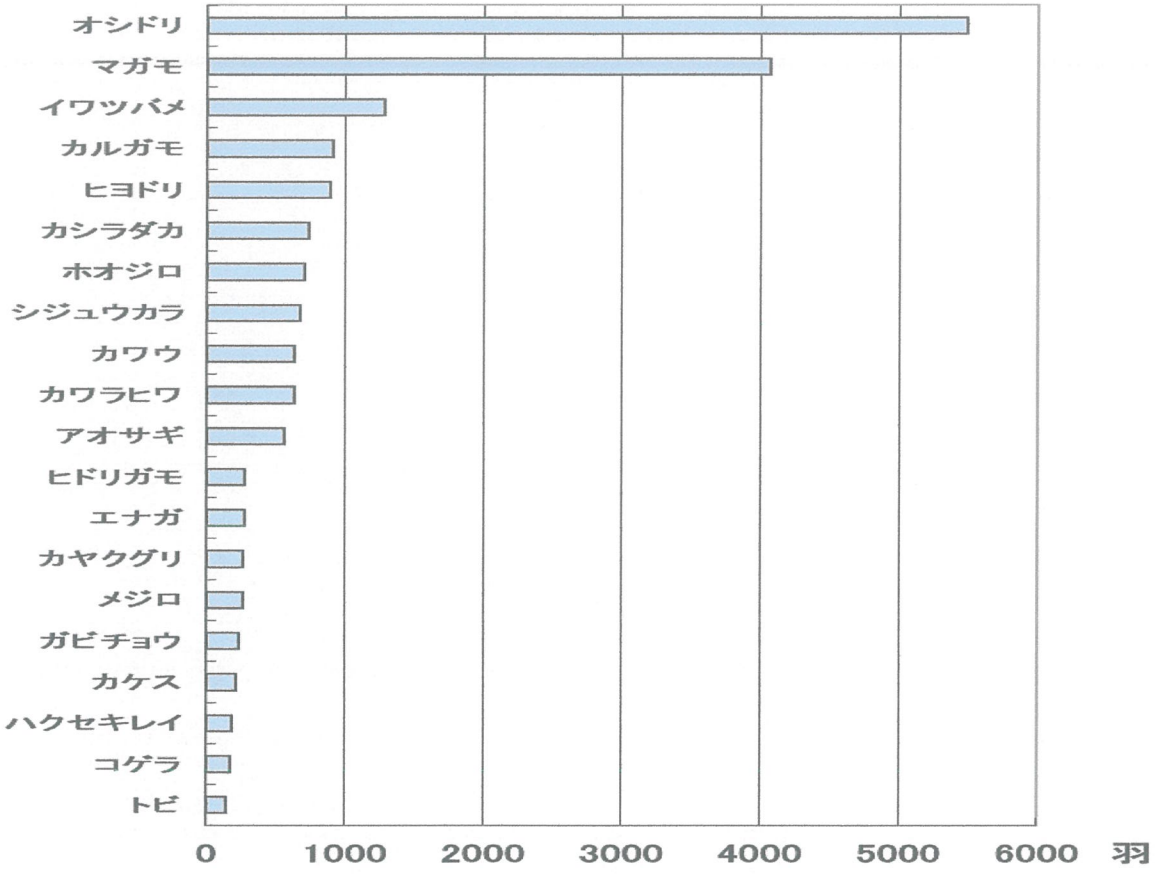
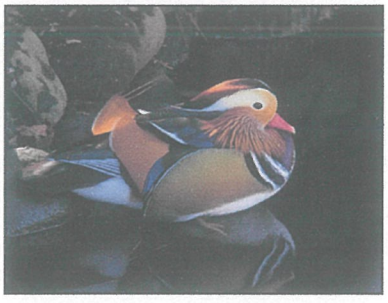


図3 優占度（上位20種）

コラム1



清里湖で一番多く記録されたのはオシドリでした。この調査で最も多く見られたのは 2011 年 11 月 17 日の 364 羽です。警戒心の強い鳥で 100m 離れていても飛び立ってしまうことがあります。群れで行動することによって、1 羽が危険を察知すると一斉に飛び立ち、身を守っているのです。調査時以外では 600 羽余のオシドリが観察された日がありました。

(5) 生息環境別の鳥相

記録された 99 種を山野の鳥と水辺の鳥に分け、種類数の比率と個体数の比率を調べた。山野の鳥は 71 種　8714 羽、水辺の鳥は 28 種 12343 羽であり、図 4-1、図 4-2 に示した。

調査地内には清里湖や湖に流れ込む沢があり、水辺の環境に恵まれている。カモたちの飛来も多い。水辺の鳥の種類数は少ないが、群れで行動することも多く、個体数は山野の鳥より多く記録されている。湖を囲む斜面は樹林や薮となっていて、山野の鳥たちも暮らしやすい環境にある。

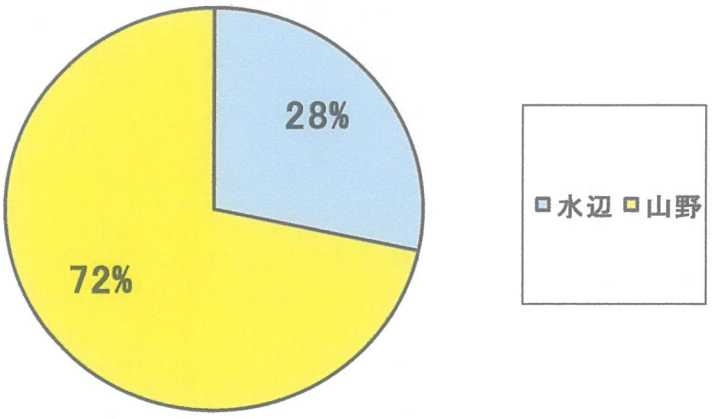


図4-1 環境別の種類数比率

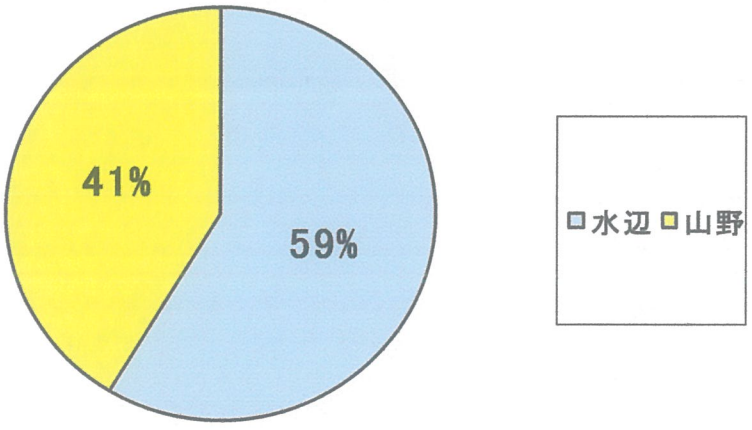


図4-2 環境別の個体数比率

(6) 月別の記録

表3 月別の記録（野鳥ごよみ）

R:留鳥　S:夏鳥
W:冬鳥　T:旅鳥

100羽以上　50～99羽

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	季節区分
	平均種類数	21.3	20.3	21.0	22.5	22.3	20.8	20.0	18.6	18.5	21.1	21.8	21.3	20.7	
	最大種類数	54	53	53	51	49	48	48	42	46	45	48	51	99	
	個体数	3047	2705	2034	1313	970	862	1097	811	930	1812	2752	2724	21057	
4	ヤマドリ											2		2	R
24	オシドリ	746	989	632	366	1	1	33	38	90	757	1190	650	5493	W
27	ヨシガモ										1			1	W
28	ヒドリガモ	46	50	39	5					5	47	69	21	282	W
29	アメリカヒドリ				2									2	W
30	マガモ	1014	787	611	150	3		1	6	9	53	664	767	4065	W
32	カルガモ	214	45	70	30	40	32	54	50	79	68	119	116	917	R
34	ハシビロガモ										1			1	W
35	オナガガモ				1						7			8	W
36	シマアジ			2										2	W
38	コガモ	75	2				2	2			6	16	6	109	W
42	ホシハジロ	10	8										27	45	W
46	キンクロハジロ	11	18	3	10	3						10	24	79	W
47	スズガモ												1	1	W
59	カワアイサ	2	5										2	9	W
62	カイツブリ	3	1	6	6	6	3	3	6	8	10	9	7	68	R
66	ハジロカイツブリ										3			3	W
74	キジバト	4	6	2	9	8	14	8	14	18	14	10	5	112	R
78	アオバト							1						1	R
127	カワウ	2	7	56	68	89	61	101	71	102	49	15	15	636	R
144	アオサギ			1	10	32	40	83	130	157	103	11		567	R
146	ダイサギ			1				1	2	1				5	R
147	チュウサギ									1				1	S
148	コサギ		1						1	2				4	R
174	バン											1		1	R
175	オオバン	2										6	2	10	R
184	ジュウイチ							1						1	S
185	ホトトギス					2	2							4	S
187	ツツドリ					1								1	S
188	カッコウ					2	2			1				5	S
239	クサシギ								1					1	T
244	イソシギ									1				1	R
340	ハチクマ								1					1	S
342	トビ	14	12	13	11	17	12	17	14	13	8	7	9	147	R
355	ハイタカ												1	1	R
356	オオタカ	1	1	2	1	1				1	1			8	R
357	サシバ						1							1	S
358	ノスリ	3	2	9	3	2	1	2					1	23	R
378	アカショウビン						1							1	S
383	カワセミ	1				1	1	3	4	7	2	2	5	26	R
385	ヤマセミ					1		2	1		1			5	R
390	コゲラ	17	22	20	21	10	13	10	8	9	10	10	23	173	R
393	アカゲラ	5	11	7	7	6	10	9	27	19	21	5	6	133	R
397	アオゲラ	1	3	1	7	7	5		1	5	6	1		37	R
401	チョウゲンボウ				2									2	R
407	ハヤブサ										1			1	W
412	サンショウクイ			1		16	16	5	17	1				56	S

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	
418	サンコウチョウ						1							1	S
420	モズ	5	3	1		3	1	1		2	5	3	1	25	R
427	カケス	26	18	21	25	4	5	2	1	8	40	41	27	218	R
435	ハシボソガラス	15	19	2	9	6	6	2	3	8	5	11	2	88	R
436	ハシブトガラス	7	10	14	9	10	8	8	6	12	18	14	7	123	R
441	コガラ	8	3	7	3		1	10	3	6	12	4	9	66	R
442	ヤマガラ	18	15	15	12	4	7	3	5	9	20	11	11	130	R
443	ヒガラ	5	2	10	2	4	6	3	5	13	4	8	1	63	R
445	シジュウカラ	70	67	77	62	40	30	30	28	51	62	55	105	677	R
452	ヒバリ			3										3	R
457	ツバメ				14	6	10	28	20	54				132	S
461	イワツバメ			36	193	343	256	318	114	3	20			1283	S
463	ヒヨドリ	58	35	20	51	84	99	104	74	93	124	65	81	888	R
464	ウグイス	2	1	1	34	22	18	8	3	1	9	4	4	107	R
465	ヤブサメ						1							1	S
466	エナガ	23	39	42	14	12	2	15	13	32	26	25	32	275	R
480	センダイムシクイ				7	6	6	1	2					22	S
485	メジロ	75	1	12	16	11	10	18	10	9	5	64	36	267	R
502	ゴジュウカラ	2	3	4	8	4	4	5	2	1		7	2	42	R
504	ミソサザイ									1				1	R
512	カワガラス	1		1		1			1	3	1			8	R
514	トラツグミ	2	1											3	R
518	クロツグミ					7	2	1						10	S
521	シロハラ	5	8	3									3	19	W
525	ツグミ	28	19	13	1							3	16	80	W
534	コルリ					1								1	T
536	ルリビタキ		1					2					1	4	R
540	ジョウビタキ	20	15	6	3			1		1	8	27	21	102	W
554	コサメビタキ						2							2	S
558	キビタキ				1	20	12	14						47	S
561	オオルリ				3	11	8	5						27	S
564	イワヒバリ	5	3	1										9	W
566	カヤクグリ	54	72	78	8	1						12	44	269	W
569	スズメ		1	6	7	10	5	12	1	3	8	8	7	68	R
573	キセキレイ	4		1	12	11	9	18	19	13	12	6	9	114	R
574	ハクセキレイ	4	9	7	11	5	17	22	31	31	22	15	8	182	R
575	セグロセキレイ	4	4	10	9	13	1	4	4	11	21	15	8	104	R
586	アトリ	13	3		2							6	5	29	W
587	カワラヒワ	90	22	38	21	20	36	41	18	12	147	102	86	633	R
588	マヒワ	3	1	6										10	W
592	ベニマシコ	9	5	2								2	4	22	W
595	オオマシコ	2												2	W
599	ウソ	2	1	2										5	W
600	シメ		1	1								2	1	5	W
602	イカル	1	45		2	6	4	3	5	3	3	7		79	W
610	ホオジロ	89	104	60	37	39	50	58	30	9	47	51	133	707	R
617	カシラダカ	190	182	34	1							8	324	739	W
618	ミヤマホオジロ	6	3	1	1							2	11	24	W
624	アオジ	13	7	9	5						2	3	12	51	W
628	オオジュリン												2	2	W
外1	コジュケイ				2			1						3	R
外21	ガビチョウ	17	12	14	19	18	28	23	21	12	22	24	23	233	R

(7) 月別変化

表 3 のデータを月別の変化が分かりやすいようにグラフに表し、図 5 に示した。

個体数は 10 月～3 月までの秋から春にかけて多くの数が記録され、夏期は少ない。季節による差が大きい。

種類数も夏鳥が飛来する春の繁殖期と、冬鳥が飛来する越冬期に多く、夏期はやや少ないが、季節による差は小さい。

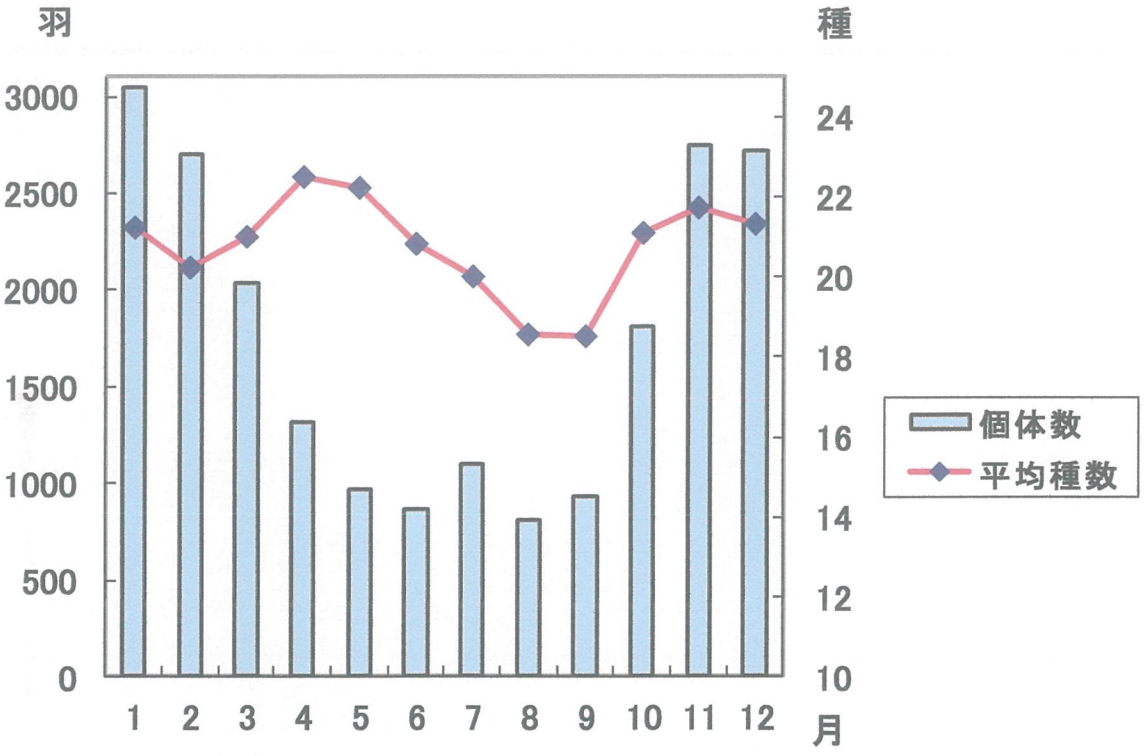


図5 個体数と平均種類数の月別変化

コラム2



「清里湖の名物の鳥」というとカヤクグリではないでしょうか。冬、標高の高い山から下りてきます。名前の通り、藪の中を動き回ります。羽も藪の色に似ていて、とても見つけにくい鳥です。湖畔斜面の藪から特徴のある高い声が響き、(あっカヤクグリだ)と、その存在に気がつきます。他の地点では、なかなか出会えないのですが、清里湖では冬期、出会うことが多い鳥です。

(8) 年別の記録

表4 年別の記録

	年	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
	種類数	55	58	48	53	55	59	55	54	58	59	54	60	99
	個体数	2078	1780	1931	2213	1416	1474	1255	1223	1246	2266	1884	2291	21057
4	ヤマドリ					2								2
24	オシドリ	575	142	637	1131	355	338	169	99	88	712	183	1064	5493
27	ヨシガモ	1												1
28	ヒドリガモ	30	49	94	9		33	17	6	21		22	1	282
29	アメリカヒドリ									2				2
30	マガモ	331	390	432	417	173	326	147	152	206	470	713	308	4065
32	カルガモ	114	153	113	77	42	85	73	41	26	35	82	76	917
34	ハシビロガモ											1		1
35	オナガガモ				1					7				8
36	シマアジ												2	2
38	コガモ	73	1	9	3	3	1	3		2	2		12	109
42	ホシハジロ							5		6	29	5		45
46	キンクロハジロ					10	15	24	7			23		79
47	スズガモ												1	1
59	カワアイサ						1			2	5		1	9
62	カイツブリ	5	9	5	14		4	4	2	5	10	3	7	68
66	ハジロカイツブリ												3	3
74	キジバト	8	10	11	7	10	3	3	11	16	13	12	8	112
78	アオバト											1		1
127	カワウ	24	28	11	23	34	27	69	103	52	85	92	88	636
144	アオサギ	54	57	59	57	23	33	53	25	41	73	48	44	567
146	ダイサギ		1						1	1	1	1		5
147	チュウサギ						1							1
148	コサギ			1			1					2		4
174	バン				1									1
175	オオバン								6	3			1	10
184	ジュウイチ						1							1
185	ホトトギス	1				1			1	1				4
187	ツツドリ										1			1
188	カッコウ		1			2					2			5
239	クサシギ										1			1
244	イソシギ						1							1
340	ハチクマ										1			1
342	トビ	8	11	8	8	10	21	11	9	16	17	13	15	147
355	ハイタカ						1							1
356	オオタカ		1		1			4			1		1	8
357	サシバ	1												1
358	ノスリ	3	1	2		1	2	2	2		5	1	4	23
378	アカショウビン									1				1
383	カワセミ		8	2	1		1	1	2	3		4	4	26
385	ヤマセミ				1	1		1	1		1			5
390	コゲラ	11	16	11	13	15	14	16	21	16	12	12	16	173
393	アカゲラ	6	10	7	7	13	10	14	16	13	18	13	6	133
397	アオゲラ	6	1		2	2	4		5	5	7	4	1	37
401	チョウゲンボウ		1				1							2
407	ハヤブサ											1		1
412	サンショウクイ	1	1	2	2	2	2	5	7	7	9	8	10	56
418	サンコウチョウ												1	1
420	モズ		2			1	3	4	5	4	1	4	1	25

	年	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合 計
427	カケス	10	10	15	12	21	8	27	29	28	26	9	23	218
435	ハシボソガラス	15	8	7	9	3	23	2	5	6	1	6	3	88
436	ハシブトガラス	4	6	15	4	9	5	11	14	18	13	12	12	123
441	コガラ	10	5	2	3	21	13	2	2	2	2	2	2	66
442	ヤマガラ	23	11	6	8	5	7	8	13	13	6	19	11	130
443	ヒガラ		27	4	3	4	7	11	5		1		1	63
445	シジュウカラ	27	8	54	37	61	62	75	63	54	71	101	64	677
452	ヒバリ	1				1					1			3
457	ツバメ	9	8	2	7	12	10	1		3	21	6	53	132
461	イワツバメ	102	193	150	77	80	80	59	101	180	106	98	57	1283
463	ヒヨドリ	68	97	45	53	61	77	80	86	87	88	73	73	888
464	ウグイス	14	15	9	6	4	7	4	8	12	11	12	5	107
465	ヤブサメ				1									1
466	エナガ	14	56	12	5	10	15	32	24	23	29	29	26	275
480	センダイムシクイ	3			1		7	2	2	1	3	1	2	22
485	メジロ	1	221	2	1	3	6		5	6	10	7	5	267
502	ゴジュウカラ		14	1	4	4	5	3		1	5	2	3	42
504	ミソサザイ									1				1
512	カワガラス		2		1			2		3				8
514	トラツグミ		2			1								3
518	クロツグミ	4		1		2			1		1		1	10
521	シロハラ	1	2		1	2	1		2	1	3	3	3	19
525	ツグミ	4	3	10	2	9	5	8	12	9	8	7	3	80
534	コルリ											1		1
536	ルリビタキ							1					3	4
540	ジョウビタキ	7	13	6	7	14	5	7	10	8	12	5	8	102
554	コサメビタキ		1							1				2
558	キビタキ	3	1	2	2		4	4	2	4	7	8	10	47
561	オオルリ	2	1	3		2	3	3	1	2	5	2	3	27
564	イワヒバリ	6	2		1									9
566	カヤクグリ	57	31	22	27	33	11	13	11	7	13	12	32	269
569	スズメ	8	9	3	3	2		1	2	9	12	7	12	68
573	キセキレイ	14	4	13	4	11	8	10	9	21	5	11	4	114
574	ハクセキレイ	6	24	17	11	9	13	13	21	12	21	17	18	182
575	セグロセキレイ	8	11	11	6	14	11	6	5	10	3	12	7	104
586	アトリ	2	1	2		11	10	1	1	1			0	29
587	カワラヒワ	102	43	23	11	79	34	27	13	81	86	89	45	633
588	マヒワ	1		1		1						1	6	10
592	ベニマシコ	3	2			2	1	1	6	1	2		4	22
595	オオマシコ										2			2
599	ウソ				5									5
600	シメ						1	1			2		1	5
602	イカル	5	2	3	2	1	2	5	45	1	5		8	79
610	ホオジロ	141	27	72	44	121	42	50	42	49	37	43	39	707
617	カシラダカ	92		2	60	65	38	139	137	30	115	17	44	739
618	ミヤマホオジロ	10	7			1	1	1	2			2		24
624	アオジ	27	2	6	1	5	1	6	1				2	51
628	オオジュリン		2											2
外1	コジュケイ	3												3
外21	ガビチョウ	19	16	6	19	32	22	14	21	17	22	22	23	233

(9) 経年変化

表 4 のデータを経年変化が分かりやすいようにグラフに表し、図 6 に示した。
(2008 年は清里湖のデータしかないため、2009 年からのグラフである)

個体数は年ごとの差が大きい。これはカモたちの大きな群れと出会い、記録されたか、どうかによる差である。特に、オシドリやマガモは大きな群れで行動する場面が見られた。種類数は年ごとの差は小さい。

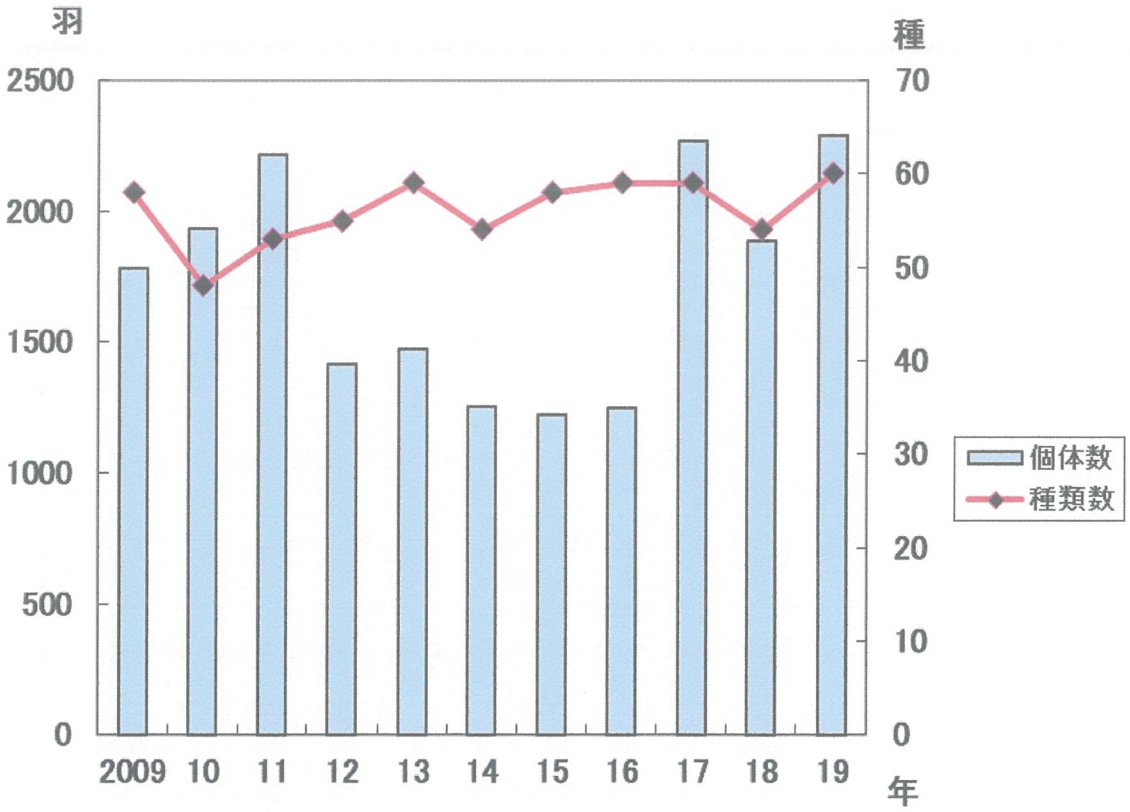


図6 個体数と種類数の経年変化

コラム3



清里湖は、例年 1 月中旬から 3 月上旬まで結氷します。湖が全面結氷すると、カモたちはどこかへと飛び去ります。湖面が全部凍りつく直前は面白い観察ができます。湖の中央部に残された狭い水面にカモたちは身を寄せ合う状態になります。まるで、露天風呂に入っている人たちのように見えます。カモたちは春が近づき、氷がゆるむと、また戻ってきます。

(10) 山梨県レッドデータブックの鳥類

レッドデータブックは山梨県では 2005 年に発行され、2018 年に改訂された。『2018 山梨県レッドデータブック』には山梨県の絶滅のおそれのある野生動物のリストが掲載されている。鳥類は、絶滅危惧 IA に 3 種、IB に 9 種、絶滅危惧Ⅱ類に 10 種、準絶滅危惧に 19 種、情報不足に 18 種の合計 59 種が選定されている。清里湖で 2008-2019 年に記録されたのは次の 12 種類である。ミヤマホオジロとサンショウクイは多く観察されているが、記録は 1 回だけという種が半数を超えている。

これらの貴重な種の動向には、これからも注視していきたい。

① アカショウビン

ブッポウソウ目カワセミ科　絶滅危惧ⅠB 類

2016 年 6 月 11 日 1 羽　湖の対岸から特徴のある声が聞こえる

1 回だけの記録である

② ハチクマ

タカ目タカ科　絶滅危惧Ⅱ類

2017 年 8 月 24 日 1 羽　湖の上空を旋回。

1 回だけの記録である

③ ハイタカ

タカ目タカ科　絶滅危惧Ⅱ類

2013 年 12 月 24 日 1 羽　上空を飛翔

1 回だけの記録である

④ ハヤブサ

ハヤブサ目ハヤブサ科　絶滅危惧Ⅱ類

2018 年 10 月 19 日 1 羽　斜面林に止まる。

1 回だけの記録である



オオタカ

⑤ オオタカ

タカ目タカ科　準絶滅危惧

2009 年 9 月 28 日 1 羽　斜面林に入る

2011 年 4 月 7 日 1 羽　ハシボソガラスにモビングされる。

など、8 回計 8 羽を記録

⑥ サシバ

タカ目タカ科　準絶滅危惧

2008 年 6 月 17 日 1 羽　上空を通過する。

1 回だけの記録である

⑦ ヤマセミ

ブッポウソウ目カワセミ科　準絶滅危惧

2011年7月6日 1羽　湖の奥へ飛ぶ。

など、5回 計5羽を記録

⑧ サンショウクイ

スズメ目サンショウクイ科　準絶滅危惧

2008年6月17日　1羽　さえずり

など、32回計56羽を記録

⑨ サンコウチョウ

スズメ目カササギヒタキ科　準絶滅危惧

2019年6月19日　1羽　さえずり

1回だけの記録である



ミヤマホオジロ

⑩　トラツグミ

スズメ目ヒタキ科　準絶滅危惧

2009年1月21日　2羽　歩く

2012年2月24日　1羽　歩く

など、2回計3羽を記録

⑪ ミヤマホオジロ

スズメ目ホオジロ科　準絶滅危惧

2008年12月11日 10羽　えさを啄ばむ

など、10回計24羽を記録



オオマシコ

⑫ オオマシコ

スズメ目アトリ科　情報不足

2017年1月12日 2羽　湖の対岸から声が聞こえる

1回だけの記録である

3.　おわりに

今後も調査を続け、野鳥たちの動向に注視していく予定です。個々の野鳥について、「北杜市の鳥類目録」として考察を加え、紹介する冊子を現在編集中です。北杜市内では、中部横断道路やソーラーパネルの建設などの環境問題があり、生きものや環境への影響が懸念されています。生きものたちが安心して暮らせる環境を次の世代に引継ぎたいと思っています。

もう一つ、私には願いがあります。皆様がお住まいの地域で、この野鳥センサス調査を行ってほしいということです。身近な野鳥たちを観察することによって、その生態が分かり、生きものたちや地域への愛着も深まるものと考えます。この調査方法を提唱した故　浜口哲一さんの遺志でもあります。この報告では調査のまとめ方も提案したものと考えます。

井富ため池の野鳥 2020

野鳥センサス調査　2009-2019 年の記録



カワラヒワ

2009 年から井富ため池周辺で 11 年間、毎月 1 回の調査、観察を行いました。その結果、89 種類の野鳥が記録されました。これは山梨全県で確認された 266 種のおよそ三分の一にあたります。11 年間のデータをまとめてみました。井富ため池における野鳥たちの動向が少し分かってきました。

それぞれの野鳥の動向や行動は「北杜市鳥類目録」として、現在編集中です。

11 年の間に、調査地内では住宅やソーラーパネルの建設などによって、多くの樹木が伐採されました。野鳥たちの生息にも影響があると思われます。生きものたちが、安心して暮らせる自然豊かな環境を次の世代に残したいものです。

Today Birds , Tomorrow Men

野鳥たちが暮らせる環境は人間にとっても大切です

2020 年 1 月　八ヶ岳野鳥クラブ

1. 調査コースと調査方法

調査地は山梨県西北部の北杜市大泉町にあり、農業用として造られた井富、飛沢の二つのため池周辺の林間地にある。ここは「山梨の野鳥観察地」に選定されている。

調査コースは標高約 1000m の飛沢ため池を起点として、別荘地が点在する林間の未舗装の道を上がる。コース最高地点の標高約 1100m の井富ため池からは舗装道を下り、起点に戻る。飛沢ため池、井富ため池は厳冬期には全面結氷することが多い。

調査方法は日本野鳥の会神奈川支部で実施している定線センサスに準じている。毎月 1 回、雨天日を避け、午前中に終了するように実施した。図 1 に示す 1 周約 4km の調査コースを歩き、見聞きした鳥の種類、個体数及び行動を記録した。通常のセンサス調査はコースの両側 25m の範囲であるが、ここでは見聞きした範囲の鳥を記録した。調査には双眼鏡及び望遠鏡を使用した。

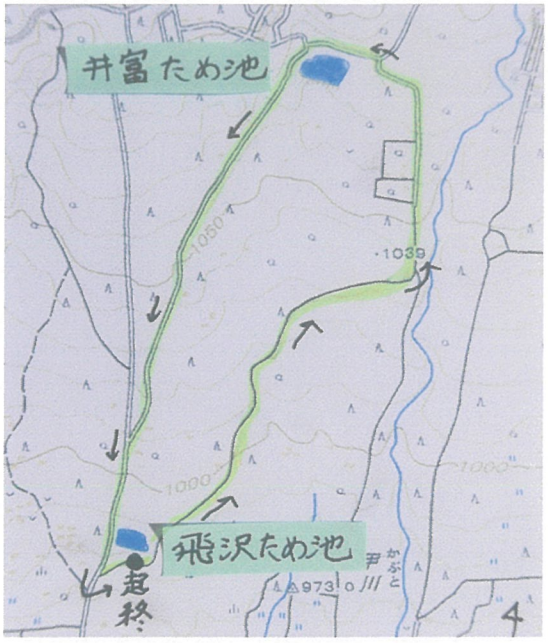


図 1 調査コース図

2. 調査結果の概要

2009 年から 2019 年までの 11 年間毎月 1 回 計 132 回の調査結果を以下にまとめた。

(1) 記録された種類と総個体数

11 年間で記録された鳥は 13 目、34 科、89 種 8554 羽であった。記録された種類と個体数の一覧を表 1 に示した。種数は日本鳥類目録改第 7 版に記載されている日本の野鳥 633 種のおよそ 14%、山梨県内で記録された 266 種のおよそ 33%にあたる。

データは調査時に記録された数だけである。他の時間帯には夜行性であるヨタカも観察されている。

表1 記録された種類と個体数

目	科	和名	個体数
キジ目	キジ科	キジ	3
カモ目	カモ科	オシドリ	1
		ヒドリガモ	2
		マガモ	91
		カルガモ	181
		ハシビロガモ	1
		オナガガモ	3
		コガモ	247
		ホシハジロ	5
		キンクロハジロ	4
カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ	1
ハト目	ハト科	キジバト	144
		アオバト	5
カツオドリ目	ウ科	カワウ	6
ペリカン目	サギ科	アオサギ	13
		ダイサギ	2
		コサギ	1
ツル目	クイナ科	バン	1
		オオバン	11
カッコウ目	カッコウ科	ホトトギス	11
		ツツドリ	1
		カッコウ	8
チドリ目	シギ科	ヤマシギ	1
タカ目	タカ科	トビ	41
		オオタカ	1
		ノスリ	9
ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ	4
キツツキ目	キツツキ科	コゲラ	435
		アカゲラ	348
		アオゲラ	105
スズメ目	サンショウクイ科	サンショウクイ	68
	カササギヒタキ科	サンコウチョウ	2
	モズ科	モズ	9
	カラス科	カケス	289
		オナガ	1
		ハシボソガラス	61
		ハシブトガラス	217
	キクイタダキ科	キクイタダキ	4
	シジュウカラ科	コガラ	177
		ヤマガラ	316
		ヒガラ	180
		シジュウカラ	1511
	ツバメ科	ツバメ	8
		イワツバメ	3
	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	887

目	科	和名	個体数
スズメ目	ウグイス科	ウグイス	199
		ヤブサメ	1
	エナガ科	エナガ	412
	ムシクイ科	メボソムシクイ	3
		エゾムシクイ	7
		センダイムシクイ	40
	メジロ科	メジロ	81
	ゴジュウカラ科	ゴジュウカラ	116
	ミソサザイ科	ミソサザイ	5
	ムクドリ科	コムクドリ	4
	ヒタキ科	トラツグミ	3
		クロツグミ	45
		シロハラ	36
		アカハラ	4
		ツグミ	87
		コルリ	1
		ルリビタキ	30
		ジョウビタキ	52
		サメビタキ	1
		コサメビタキ	12
		キビタキ	198
		オオルリ	47
	イワヒバリ科	イワヒバリ	3
		カヤクグリ	5
	スズメ科	スズメ	1
	セキレイ科	キセキレイ	36
		ハクセキレイ	12
		セグロセキレイ	7
		ビンズイ	1
	アトリ科	アトリ	218
		カワラヒワ	588
		マヒワ	18
		ベニマシコ	26
		オオマシコ	3
		ウソ	14
		シメ	23
		イカル	71
	ホオジロ科	ホオジロ	384
		カシラダカ	218
		ミヤマホオジロ	56
		ノジコ	2
		アオジ	8
		クロジ	3
スズメ目	チメドリ科	ガビチョウ	54
13目	34科	89種	8554羽

赤字　外来種

(2) 季節区分

留鳥が最も多く、半数近くを占め、冬鳥、夏鳥、旅鳥の順であった。

季節の区分は当調査地におけるものであり、日本全体や他の地方とは異なる場合がある。複数の区分にあてはまる鳥類もあるが、ここでは主な区分を一つ選び、一覧を表 3 に示した。

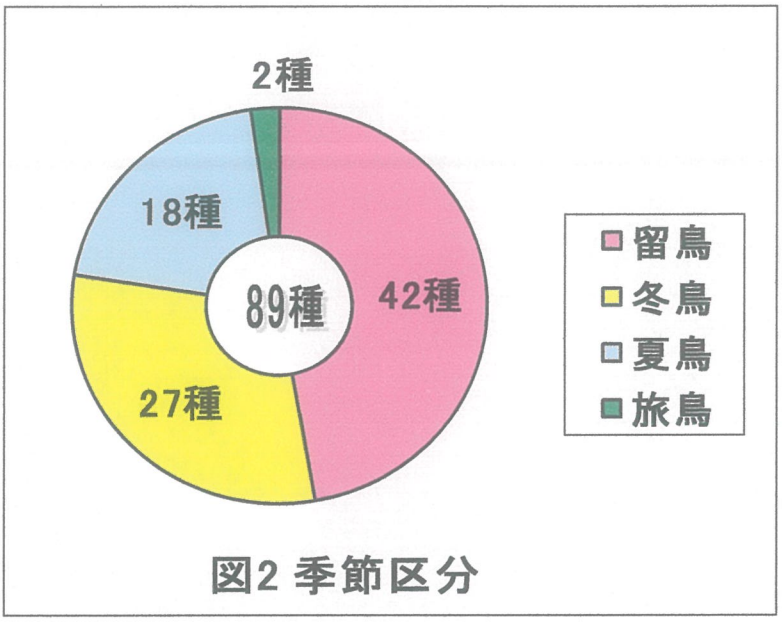


図2 季節区分

(3) 出現率

個体数に関係なく、観察月にその種が出現した月数の割合が出現率である。表 2 に上位 20 種を示す。一年中見られる留鳥が上位を占めている。シジュウカラは 100%で、132 回の調査では毎回出会えたことになる。逆に、132 回のうち、1 回だけの記録の野鳥も 20 種ある。(値は小数点以下四捨五入)

表 2 出現率 (上位 20 種)

順	種　名	出現率%	順	種　名	出現率%
1	シジュウカラ	100	11	コガラ	61
2	コゲラ	94	12	キジバト	57
3	ヒヨドリ	92	13	カケス	52
4	アカゲラ	90	13	ウグイス	52
5	カワラヒワ	85	15	ゴジュウカラ	47
6	ヤマガラ	80	15	アオゲラ	46
7	ハシブトガラス	77	17	カルガモ	41
8	ホオジロ	76	18	イカル	34
9	エナガ	68	19	ガビチョウ	29
10	ヒガラ	65	19	コガモ	28

(4) 優占度

その種が総個体数の中で占める割合を種別優占度として、表 1 の個体数の上位 20 種を図 3 に示した。調査地の大半は林内にあるため山野の鳥が多く、シジュウカラは 1511 羽で、総個体数のおよそ 2 割を占めている。1 羽だけしか記録されていない野鳥も 14 種ある。調査地には人家がほとんどないこともあり、スズメも 1 羽だけである。

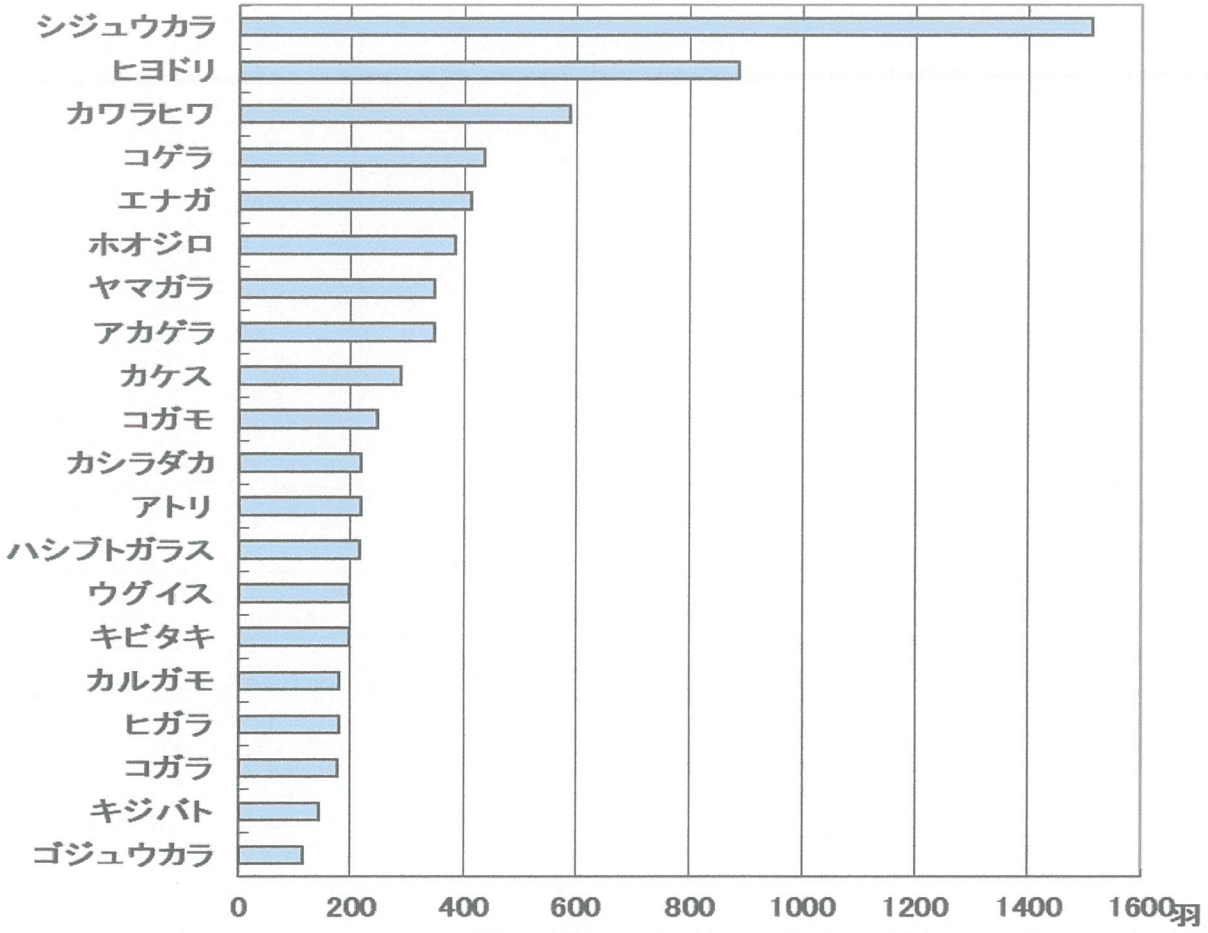


図3 優占度（上位20種）

コラム1



井富ため池コースで、出現率が 94% と 2 番目に高い割合で見られたのはキツツキの仲間のコゲラです。幹や枝をくちばしで突き、エサとなる昆虫を探しながら歩きます。「ゲッー」と低い、一音だけの声が林内に響きます。日本で一番小さいキツツキです。

(5) 生息環境別の鳥相

記録された 89 種を環境によって、山野の鳥と水辺の鳥に分け、種類数の比率と個体数の比率を調べた。山野の鳥は 71 種　7976 羽、水辺の鳥は 18 種 578 羽であり、図 4-1、図 4-2 に示した。調査地には林が多く、山野の鳥が多くを占めている。二つのため池の水面はあまり広くないため、飛来する水辺の鳥の個体数も種類数も多くない。

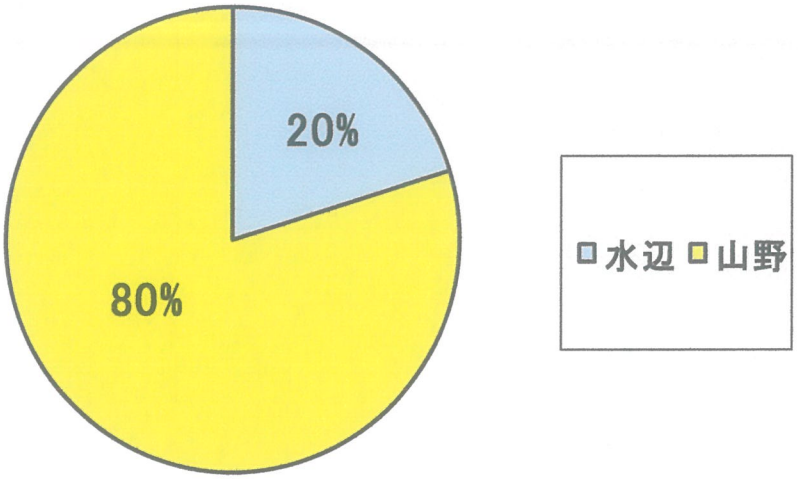


図4-1 環境別の種類数比率

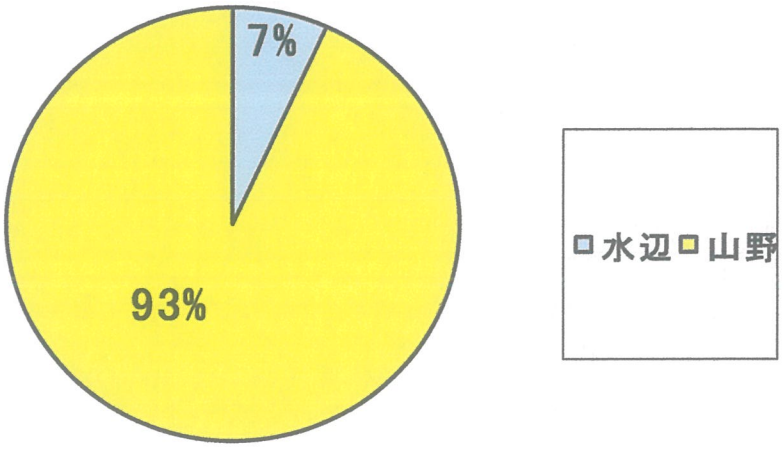


図4-2 環境別の個体数比率

(6) 月別の記録

表3 月別の記録（野鳥ごよみ）

R: 留鳥　W: 冬鳥　S: 夏鳥　T: 旅鳥

50羽以上　25-49羽

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		季
	平均種類数	18.0	17.6	18.4	19.6	20.5	20.8	17.4	13.6	14.7	14.8	16.9	19.6	17.7	節
	種類数	44	39	41	50	44	46	43	34	32	29	43	47	89	区
	個体数	882	771	886	762	724	741	568	388	532	611	744	945	8554	分
5	キジ			1	1		1							3	R
24	オシドリ									1				1	W
28	ヒドリガモ											2		2	W
30	マガモ	43	7	17	2	1				1	1	7	12	91	W
32	カルガモ	19	31	14	34	14	7	1	3	6	5	31	16	181	R
34	ハシビロガモ												1	1	W
35	オナガガモ	1		2										3	W
38	コガモ	2	52	51	16	6	1			1	9	62	47	247	W
42	ホシハジロ												5	5	W
46	キンクロハジロ	2			2									4	W
62	カイツブリ					1								1	R
74	キジバト	6	5	10	14	10	19	21	20	23	13	1	2	144	R
78	アオバト						4	1						5	R
127	カワウ		5		1									6	R
144	アオサギ			1				1	1	5	2	2	1	13	R
146	ダイサギ	2												2	R
148	コサギ												1	1	R
174	バン									1				1	R
175	オオバン	1	1	1	1							2	5	11	R
185	ホトトギス					1	4	5	1					11	S
187	ツツドリ					1								1	S
188	カッコウ						8							8	S
212	ヤマシギ				1									1	W
342	トビ	1	5	4	2	5	1	3	3	2		4	11	41	R
356	オオタカ								1					1	R
358	ノスリ		1	1	1	1	1	1	1				2	9	R
383	カワセミ							1		2		1		4	R
390	コゲラ	51	47	47	47	26	26	33	19	31	36	32	40	435	R
393	アカゲラ	24	21	22	33	31	39	26	40	40	37	26	9	348	R
397	アオゲラ	6	6	9	17	28	11	9	3	8	5	2	1	105	R
412	サンショウクイ					26	29	4	9					68	S
418	サンコウチョウ					1	1							2	S
420	モズ						1				5	2	1	9	R
427	カケス	31	13	35	27	3	2	1	3	7	56	58	53	289	R
429	オナガ						1							1	R
435	ハシボソガラス	3	7	8	14	3	6	3	4	1	2	8	2	61	R
436	ハシブトガラス	20	12	25	23	20	20	18	12	18	13	18	18	217	R
438	キクイタダキ		3									1		4	R
441	コガラ	12	13	23	13	4	6	11	14	26	27	13	15	177	S
442	ヤマガラ	39	49	47	33	17	14	4	12	25	31	21	24	316	R
443	ヒガラ	10	8	6	10	14	19	13	23	28	22	16	11	180	R
445	シジュウカラ	160	143	190	162	111	110	79	75	101	118	108	154	1511	R
457	ツバメ				1	1	1	5						8	S
461	イワツバメ								3					3	S
463	ヒヨドリ	50	17	16	28	85	118	116	63	92	105	117	80	887	R
464	ウグイス			3	40	54	38	30	4	8	12	6	4	199	R
465	ヤブサメ					1								1	S

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	
466	エナガ	62	55	46	16	19	16	13	22	34	49	53	27	412	R
477	メボソムシクイ					3								3	S
479	エゾムシクイ				2		1	4						7	S
480	センダイムシクイ				2	20	16	1	1					40	S
485	メジロ	1			10	19	12	4	5	20	3	4	3	81	R
502	ゴジュウカラ	7	12	16	32	10	11	4	1	7	8	6	2	116	R
504	ミソサザイ			1	4									5	R
508	コムクドリ							4						4	T
514	トラツグミ	1							2					3	R
518	クロツグミ				2	10	16	16			1			45	S
521	シロハラ	13	7	4	1	1			1			1	8	36	W
522	アカハラ	1					2	1						4	W
525	ツグミ	16	9	6	5							3	48	87	W
534	コルリ						1							1	S
536	ルリビタキ	5	4	1	4	1	2	4		1		3	5	30	W
540	ジョウビタキ	9	7	4	2	1		2		1		12	14	52	W
553	サメビタキ							1						1	T
554	コサメビタキ					6	2	3	1					12	S
558	キビタキ				3	68	81	43	1	2				198	S
561	オオルリ				1	21	15	10						47	S
564	イワヒバリ					1							2	3	W
566	カヤクグリ	2											3	5	W
569	スズメ											1		1	R
573	キセキレイ	1	1		4	5	4	7	3	5	4	1	1	36	R
574	ハクセキレイ	1			1		1	2			4		3	12	R
575	セグロセキレイ	1										3	3	7	R
580	ビンズイ							1						1	R
586	アトリ	40	45	84	24							2	23	218	W
587	カワラヒワ	100	91	73	55	46	22	14	20	14	20	56	77	588	R
588	マヒワ		9	2									7	18	W
592	ベニマシコ	9	2	2	3							5	5	26	W
595	オオマシコ	1											2	3	W
599	ウソ	3	3	4	1							2	1	14	W
600	シメ	2	3	15	3									23	W
602	イカル	2	4	8	11	5	2	8	8	11	5	4	3	71	W
610	ホオジロ	53	36	43	26	19	40	33	8	6	12	34	74	384	R
617	カシラダカ	46	21	33	9						2	11	96	218	W
618	ミヤマホオジロ	22	11	2	2							1	18	56	W
623	ノジコ					1	1							2	S
624	アオジ		2	2	3							1		8	W
625	クロジ						3							3	W
外21	ガビチョウ	1	3	7	13	3	5	7	1	4	4	1	5	54	R

(7)　月別変化

表 3 のデータを月別の変化が分かりやすいようにグラフに表し、図 5 に示した。

個体数は 12 月～3 月の冬期に多く記録されている。

種類数は冬の越冬期から初夏の繁殖期にかけて多く記録され、夏期は少ない。

種類数が多い時期は個体数も多く、同じような変化傾向がある。

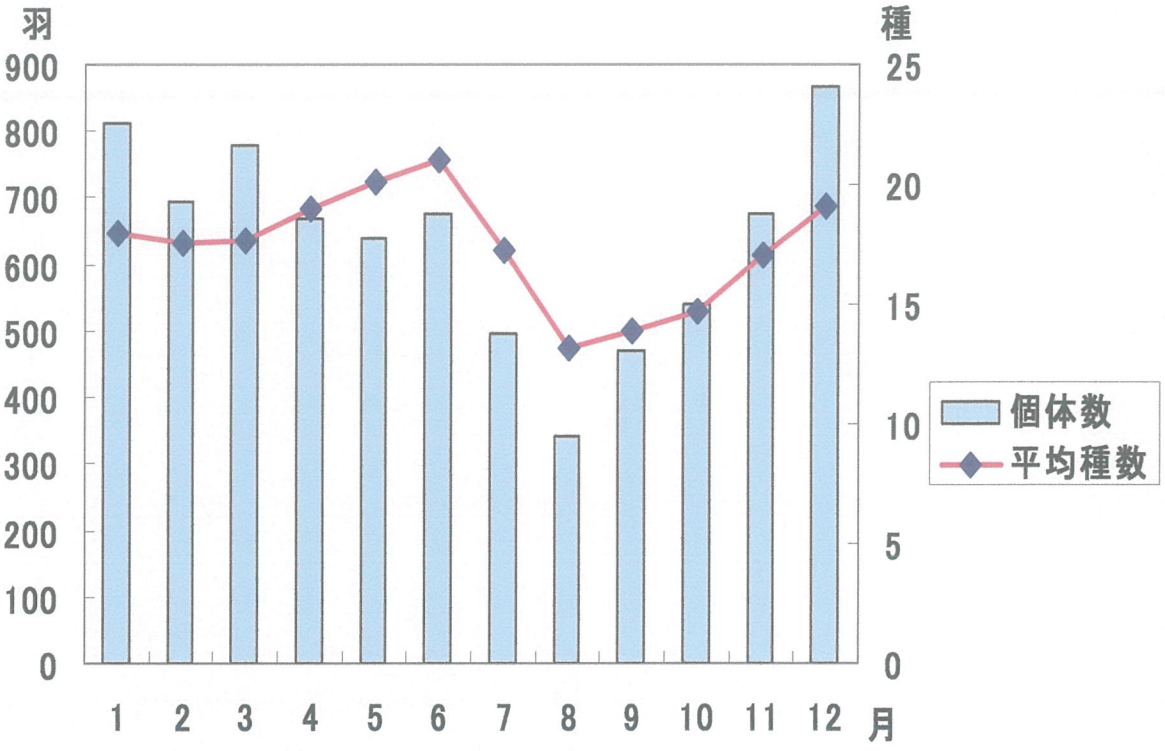


図5 個体数と平均種類数の月別変化

コラム2



井富ため池コースの大半は林の中です。初夏、あちらこちらからさえずりが響き渡ってきます。樹木の葉が茂る時期で、鳥たちの姿は見にくいのですが、さえずりが美しい季節です。「月日星、ホイホイホイ」と聞こえるサンコウチョウの特徴ある声はすぐに覚えられることでしょう。針葉樹の薄暗い林の中にいることが多い鳥です。調査では 2 回だけしか出会えませんでした。

(8) 年別の記録

表4　年別の記録

	年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	合計
	種類数	46	49	46	49	50	46	52	50	53	56	53	89
	個体数	764	626	566	772	663	792	791	931	866	892	891	8554
5	キジ		2					1					3
24	オシドリ											1	1
28	ヒドリガモ				2								2
30	マガモ	1	3	7	20	12	5	7		1	12	23	91
32	カルガモ	2	7	3	23	6	16	17	16	15	47	29	181
34	ハシビロガモ											1	1
35	オナガガモ							2			1		3
38	コガモ	6	16	11	33	35	35	29		7	45	30	247
42	ホシハジロ								5				5
46	キンクロハジロ						2					2	4
62	カイツブリ											1	1
74	キジバト	8	6	10	15	14	7	15	17	19	16	17	144
78	アオバト							1	1	1	1	1	5
127	カワウ		1								1	4	6
144	アオサギ			1	1				1	2	5	3	13
146	ダイサギ										2		2
148	コサギ									1			1
174	バン										1		1
175	オオバン									3		8	11
185	ホトトギス	1	2	1		1		2				4	11
187	ツツドリ					1							1
188	カッコウ	1	1		2	1				1		2	8
212	ヤマシギ				1								1
342	トビ	2	2	1	5	2	6	5	5	2	5	6	41
356	オオタカ											1	1
358	ノスリ					1	1	3	1		3		9
383	カワセミ							1		2	1		4
390	コゲラ	47	26	30	38	37	32	42	44	46	47	46	435
393	アカゲラ	27	28	20	36	25	44	28	36	28	38	38	348
397	アオゲラ	7	8	13	7	7	10	8	8	10	14	13	105
412	サンショウクイ	2	2	5	5	8	4	5	4	14	6	13	68
418	サンコウチョウ			1					1				2
420	モズ	1			1	2		1	2		1	1	9
427	カケス	14	17	15	41	19	29	14	65	13	17	45	289
429	オナガ				1								1
435	ハシボソガラス	17	2	9	2	4	3	2	6	1	6	9	61
436	ハシブトガラス	16	23	17	18	20	24	18	17	22	17	25	217
438	キクイタダキ						2				2		4
441	コガラ	27	18	14	21	22	21	13	12	13	7	9	177
442	ヤマガラ	36	30	32	25	24	41	34	23	25	29	17	316
443	ヒガラ	18	23	12	19	26	23	22	13	7	7	10	180
445	シジュウカラ	141	119	129	138	91	144	132	149	175	165	128	1511
457	ツバメ	1							2		1	4	8
461	イワツバメ							3					3
463	ヒヨドリ	98	48	60	81	80	92	72	93	86	80	97	887
464	ウグイス	21	21	14	15	16	8	11	18	18	25	32	199
465	ヤブサメ		1										1
466	エナガ	49	33	27	24	28	36	23	55	46	47	44	412

	年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	合計
477	メボソムシクイ	1	1			1							3
479	エゾムシクイ	2				1		1	3				7
480	センダイムシクイ	4	2	1	8	3	5	4	3	3	6	1	40
485	メジロ	10	4	1	6	2	5	1	5	28	9	10	81
502	ゴジュウカラ	1	5	15	12	11	10	9	9	16	13	15	116
504	ミソサザイ		1		1		1		1		1		5
508	コムクドリ	4											4
514	トラツグミ			1		1				1			3
518	クロツグミ	5	4	6	3	1	11	5	5	2	2	1	45
521	シロハラ	5	5	4	4	1	5	2	2	3	2	3	36
522	アカハラ		1						2	1			4
525	ツグミ	7	4	2	7	2	9	1	31	9	6	9	87
534	コルリ		1										1
536	ルリビタキ		4		2		3	3	1	10	5	2	30
540	ジョウビタキ	2	3	3	3	3	4	8	4	5	7	10	52
553	サメビタキ				1								1
554	コサメビタキ	2	1	1			1	2	2	1	2		12
558	キビタキ	11	11	13	8	14	11	19	27	29	22	33	198
561	オオルリ	8	9	4	3	5	4	3	2	3	2	4	47
564	イワヒバリ				2					1			3
566	カヤクグリ			1						2		2	5
569	スズメ										1		1
573	キセキレイ	1		2	3	4	1	5	5	3	8	4	36
574	ハクセキレイ		1	1		2	2	1		3	1	1	12
575	セグロセキレイ					1	2		1	2	1		7
580	ビンズイ	1											1
586	アトリ	3	1		17	36	9	76	31	44	1		218
587	カワラヒワ	65	53	34	61	33	49	37	73	64	69	50	588
588	マヒワ			2		2	1	1	7	5			18
592	ベニマシコ				6	7	2		3	1	7		26
595	オオマシコ					1				2			3
599	ウソ	4	2	1	1	2		2			1	1	14
600	シメ	14	2	1				2	1	1		2	23
602	イカル	14	5	3	3	1	4	7	13	11	5	5	71
610	ホオジロ	45	48	20	25	33	32	38	44	34	28	37	384
617	カシラダカ	7	13	6	3	3	23	36	59	21	28	19	218
618	ミヤマホオジロ	5	3	3	7	8	8	12			4	6	56
623	ノジコ								2				2
624	アオジ			5				2			1		8
625	クロジ				3								3
外21	ガビチョウ		3	4	9	3	5	3	1	3	11	12	54

(9)　経年変化

表４のデータを月別の変化が分かりやすいようにグラフに表し、図６に示した。

種類数も個体数も多少の増減はあるが、増加の傾向が見られる。樹木の伐採跡地に草木が茂り始め、エサとなる種子が増えていることや、調査者の観察技術の向上も記録数の増加の一因とも考えられる。

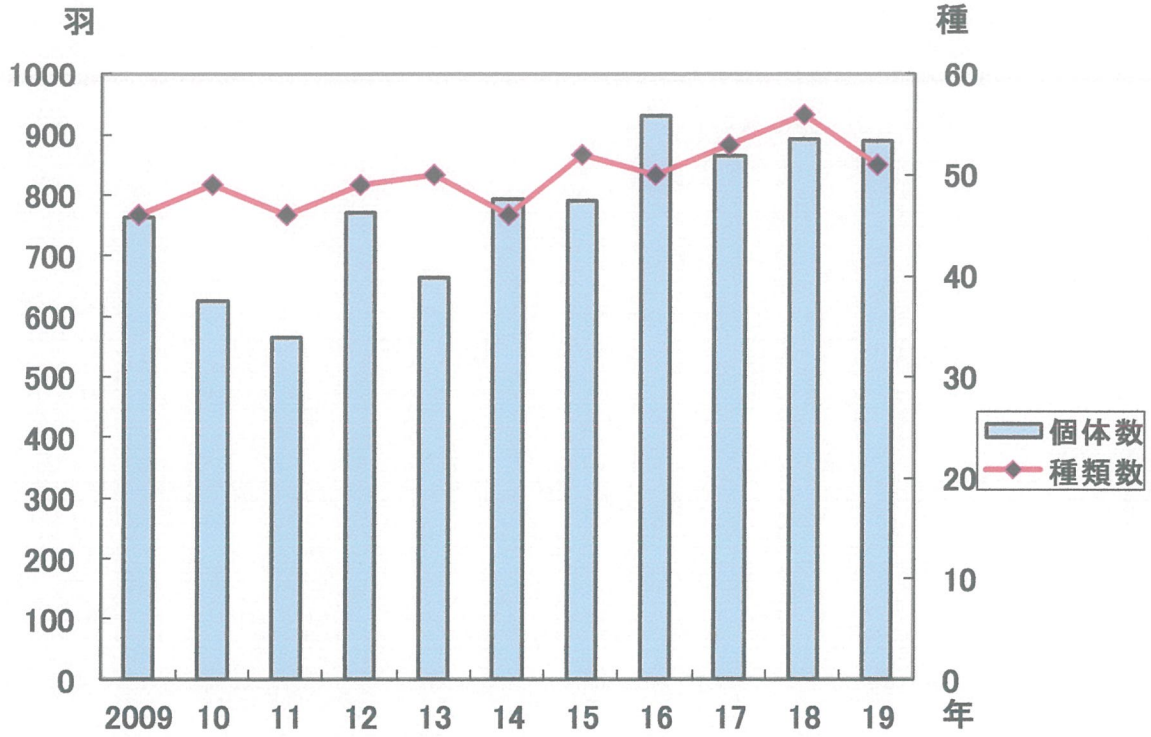


図6 個体数と種類数の経年変化

コラム3



この 11 年間で井富ため池コース内では多くの樹木が伐られました。鳥たちの生息環境の悪化が心配でした。しかし、個体数も種類数もやや増えている傾向にあります。伐採の跡地にはマツヨイグサなどの草木が茂り始め、草や木の実のある藪になりつつあります。その草木の小さな種をエサとする鳥たちの姿が見られます。オオマシコもその一つです。

(10) 山梨県レッドデータブックの鳥類

レッドデータブックは山梨県では2005年に発行され、2018年に改訂された。『2018山梨県レッドデータブック』には山梨県の絶滅のおそれのある野生動物のリストが掲載されている。鳥類は、絶滅危惧IAに3種、IBに9種、絶滅危惧Ⅱ類に10種、準絶滅危惧に19種、情報不足に18種の合計59種が選定されている。2009-2019年に記録されたのは次の9種類である。これらの貴重な種の動向には、今後も注視していきたい。

① サンショウクイ

スズメ目サンショウクイ科　準絶滅危惧
2009年6月25日　1羽　さえずり飛ぶ
など28回、計68羽を記録


サンショウクイ

② サンコウチョウ

スズメ目カササギヒタキ科　準絶滅危惧
2011年6月7日　1羽　さえずり
など2回、計2羽を記録

③ ミヤマホオジロ

スズメ目ホオジロ科　準絶滅危惧
2009年12月6日　5羽　えさを啄ばむ
など18回、計56羽を記録


ミヤマホオジロ

④ ヤマシギ

チドリ目シギ科　情報不足
2012年4月8日　1羽　湿地を歩く
1回だけの記録である

⑤ クロジ

スズメ目ホオジロ科　情報不足
2012年6月18日　3羽　やぶを歩く
1回だけの記録である

⑥ オオマシコ

スズメ目アトリ科　情報不足
2013年1月20日　1羽　カラマツの根元のやぶを歩く
など2回、計3羽を記録

⑦ ノジコ

スズメ目ホオジロ科　準絶滅危惧

2016年6月11日　1羽　別荘の庭木に止まる

など2回、計2羽を記録

⑧トラツグミ

スズメ目ヒタキ科　準絶滅危惧

2017年1月14日　1羽　林内を歩く

など3回、計3羽を記録

⑨オオタカ

タカ目タカ科　準絶滅危惧

2019年8月21日　1羽　上空を飛ぶ

1回だけの記録である

コラム4



外来種としてガビチョウが記録されています。飼い鳥として中国から移入されました。しかし、ペットショップから「カゴぬけ」して、東京から神奈川、山梨へと分布を広げてきました。井富コースで初めて記録したのは2010年3月でした。冬でも、大きな声で鳴くので、その存在がすぐに分かります。他の鳥の声を真似するのも特徴です。藪の中をこそこそと動き、人の姿を見ると、すぐに移動してしまいます。

3.おわりに

今回の集計はまだ11年間分だけのデータです。野鳥たちの種類も、個体数も増えているのか、減っているのかを明確に判断できる材料とは言えません。さらに、調査は続けます。個々の野鳥についての動向は「北杜市の鳥類目録」として、現在編集中です。

調査地内では、別荘や定住住宅が増え、樹木が多く伐採されました。隣接地には大きなソーラーパネルが設置されるなど、生息環境の変化がありました。生きものたちが安心して暮らせる北杜の環境を次世代に引継ぎたいと思っています。

八ヶ岳南麓の野鳥2020

野鳥センサス調査　2008-2019 年の記録



ルリビタキ

清里湖での 2008 年から 12 年間、144 回、井富ため池周辺で 11 年間、132 回実施しました。ここでは、2 地点での合計 276 回の調査データを統合してみました。その結果、記録された野鳥は 111 種でした。

2 つの調査地は環境が異なるので、データを統合することが適当なのか、検討する必要があるかと思います。ここでは、八ヶ岳南麓という広い地域での野鳥たちの動向を探るデータであるいうことで、ご理解ください。

1. 調査結果の概要

清里湖での 12 年間 144 回。井富ため池周辺での 11 年間 132 回。2 地点で合わせて合計 276 回実施したデータを統合してみた。

(1) 記録された種類と個体数

記録された鳥は 14 目、37 科、111 種、29611 羽であった。記録された種類と個体数の一覧を表 1 に示した。日本鳥類目録改第 7 版に記載された日本の野鳥の 633 種のおよそ 18%、山梨県内で記録された 266 種のおよそ 42%にあたる。

データは、調査時に記録された数である。他の時間帯には夜行性であるフクロウやヨタカも観察されている。

表1 記録された種類と個体数

	調査地	井富	清里湖	合計
	種類数	89	99	111
	個体数	8554	21057	29611
4	ヤマドリ		2	2
5	キジ	3		3
24	オシドリ	1	5493	5494
27	ヨシガモ		1	1
28	ヒドリガモ	2	282	284
29	アメリカヒドリ		2	2
30	マガモ	91	4065	4156
32	カルガモ	181	917	1098
34	ハシビロガモ	1	1	2
35	オナガガモ	3	8	11
36	シマアジ		2	2
38	コガモ	247	109	356
42	ホシハジロ	5	45	50
46	キンクロハジロ	4	79	83
47	スズガモ		1	1
59	カワアイサ		9	9
62	カイツブリ	1	68	69
66	ハジロカイツブリ		3	3
74	キジバト	144	112	256
78	アオバト	5	1	6
127	カワウ	6	636	642
144	アオサギ	13	567	580
146	ダイサギ	2	5	7
147	チュウサギ		1	1
148	コサギ	1	4	5
174	バン	1	1	2
175	オオバン	11	10	21
184	ジュウイチ		1	1
185	ホトトギス	11	4	15
187	ツツドリ	1	1	2
188	カッコウ	8	5	13
212	ヤマシギ	1		1
239	クサシギ		1	1
244	イソシギ		1	1
340	ハチクマ		1	1
342	トビ	41	147	188
355	ハイタカ		1	1
356	オオタカ	1	8	9
357	サシバ		1	1
358	ノスリ	9	23	32
378	アカショウビン		1	1
383	カワセミ	4	26	30
385	ヤマセミ		5	5
390	コゲラ	435	173	608
393	アカゲラ	348	133	481
397	アオゲラ	105	37	142
401	チョウゲンボウ		2	2
407	ハヤブサ		1	1
412	サンショウクイ	68	56	124
418	サンコウチョウ	2	1	3
420	モズ	9	25	34
427	カケス	289	218	507
429	オナガ	1		1
435	ハシボソガラス	61	88	149
436	ハシブトガラス	217	123	340

	調査地	井富	清里湖	合計
438	キクイタダキ	4		4
441	コガラ	177	66	243
442	ヤマガラ	316	130	446
443	ヒガラ	180	63	243
445	シジュウカラ	1511	677	2188
452	ヒバリ		3	3
457	ツバメ	8	132	140
461	イワツバメ	3	1283	1286
463	ヒヨドリ	887	888	1775
464	ウグイス	199	107	306
465	ヤブサメ	1	1	2
466	エナガ	412	275	687
477	メボソムシクイ	3		3
479	エゾムシクイ	7		7
480	センダイムシクイ	40	22	62
485	メジロ	81	267	348
502	ゴジュウカラ	116	42	158
504	ミソサザイ	5	1	6
508	コムクドリ	4		4
512	カワガラス		8	8
514	トラツグミ	3	3	6
518	クロツグミ	45	10	55
521	シロハラ	36	19	55
522	アカハラ	4		4
525	ツグミ	87	80	167
534	コルリ	1	1	2
536	ルリビタキ	30	4	34
540	ジョウビタキ	52	102	154
553	サメビタキ	1		1
554	コサメビタキ	12	2	14
558	キビタキ	198	47	245
561	オオルリ	47	27	74
564	イワヒバリ	3	9	12
566	カヤクグリ	5	269	274
569	スズメ	1	68	69
573	キセキレイ	36	114	150
574	ハクセキレイ	12	182	194
575	セグロセキレイ	7	104	111
580	ビンズイ	1		1
586	アトリ	218	29	247
587	カワラヒワ	588	633	1221
588	マヒワ	18	10	28
592	ベニマシコ	26	22	48
595	オオマシコ	3	2	5
599	ウソ	14	5	19
600	シメ	23	5	28
602	イカル	71	79	150
610	ホオジロ	384	707	1091
617	カシラダカ	218	739	957
618	ミヤマホオジロ	56	24	80
623	ノジコ	2		2
624	アオジ	8	51	59
625	クロジ	3		3
628	オオジュリン		2	2
外1	コジュケイ		3	3
外21	ガビチョウ	54	233	287

(2) 季節区分

留鳥が最も多く、冬鳥、夏鳥、旅鳥の順であった。

季節の区分は八ヶ岳南麓におけるものであり、日本全体や他の地方とは異なる場合がある。複数の区分にあてはまる鳥類もあるが、ここでは主な区分を一つ選び、一覧を表3に示した。

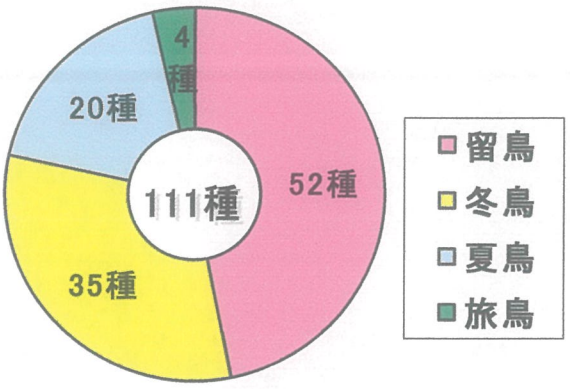


図1 季節区分

(3) 出現率

個体数とは関係なく、観察時にその種が出現した月数の割合が出現率である。表2に上位20種を示す。シジュウカラは95%の出現率で、ほぼ毎回出会えたことになる。一年中見られる留鳥が上位を占めている。逆に、276回のうち、記録されたのが1回だけという野鳥も22種ある。環境の異なる2地点のデータを統合しているために、出現率はそれぞれの地点のデータ値よりも下がっている。(値は小数点以下四捨五入)

表2 出現率（上位20種）

順	種 名	出現率 %	順	種 名	出現率 %
1	シジュウカラ	95	10	ガビチョウ	55
2	ヒヨドリ	94	12	キジバト	52
3	コゲラ	83	13	カケス	50
4	ホオジロ	82	14	トビ	49
5	カワラヒワ	79	15	ウグイス	46
6	アカゲラ	73	16	ヒガラ	44
7	ハシブトガラス	67	17	コガラ	42
8	ヤマガラ	65	18	マガモ	37.0
9	カルガモ	58	19	ハクセキレイ	36.6
10	エナガ	57	20	カワウ	35

(4) 優占度

その種が総個体数の中で占める割合を種別優占度として、表1の上位20種を図2に示した。オシドリなどのカモの仲間やイワツバメなど、集団で行動することが多い鳥たちが上位を占めている。オシドリ、マガモ、シジュウカラの上位の3種で11838羽と、全体のおよそ4割を占めている。冬に群れで行動するカシラダカ、ホオジロも多い。逆に、1羽だけの記録にとどまった鳥も15種ある。

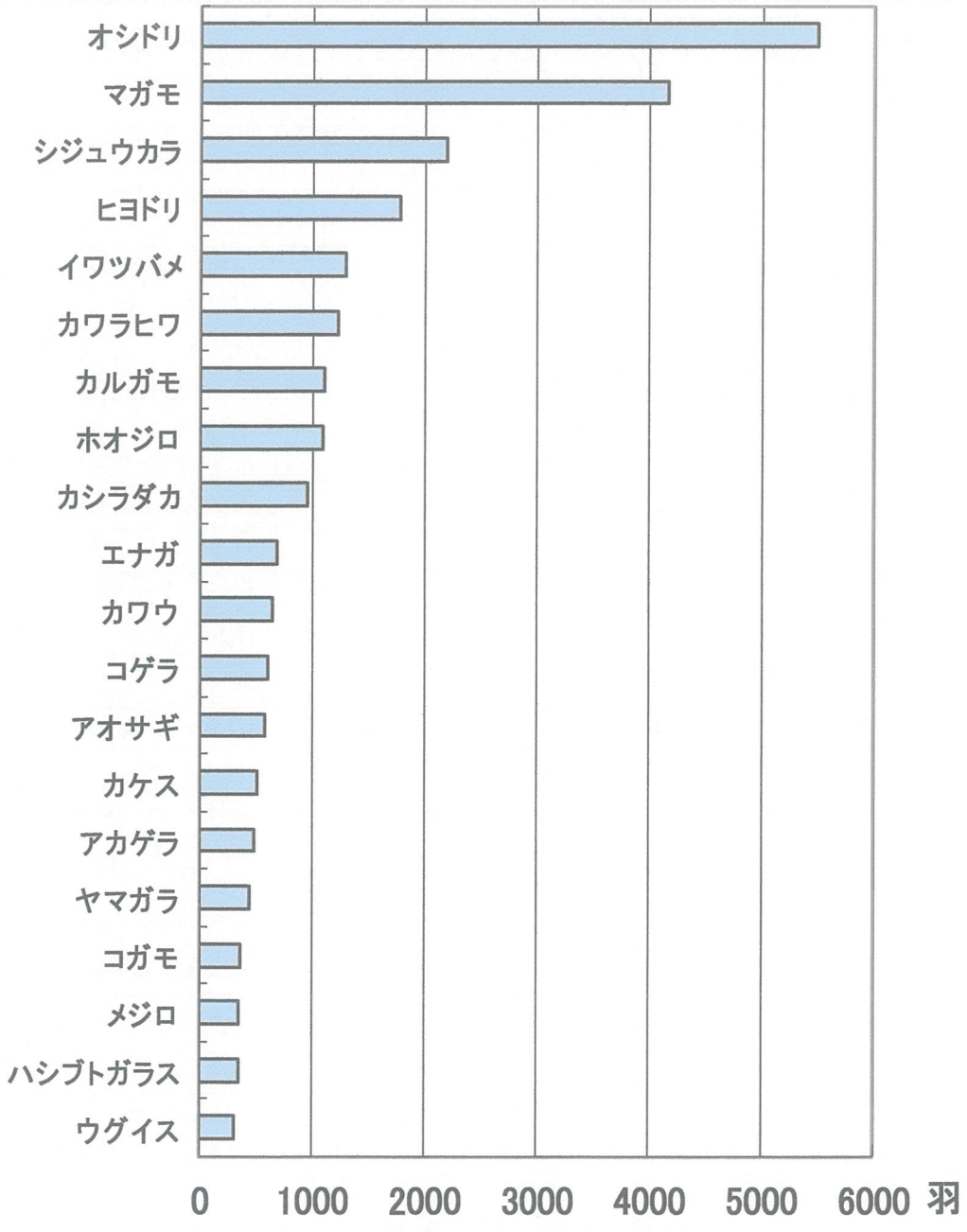


図2 優占度（上位20種）

(5) 生息環境別の鳥相

記録された 111 種を山野の鳥と水辺の鳥に分け、種類数の比率と個体数の比率を調べた。それぞれ図 3-1、図 3-2 に示した。山野の鳥は 82 種 16688 羽、水辺の鳥は 29 種 12923 羽であった。

清里湖は水辺の環境に富み、井富ため池周辺は樹林が多い。環境が異なる 2 地点のデータを統合したため、比率は 2 地点の中間の値となっている。

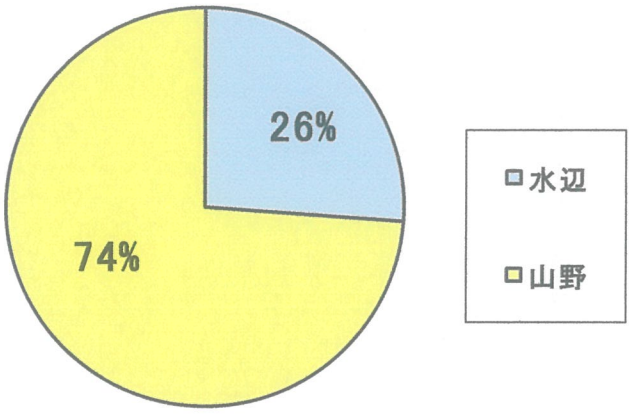


図3-1 環境別の種類数比率

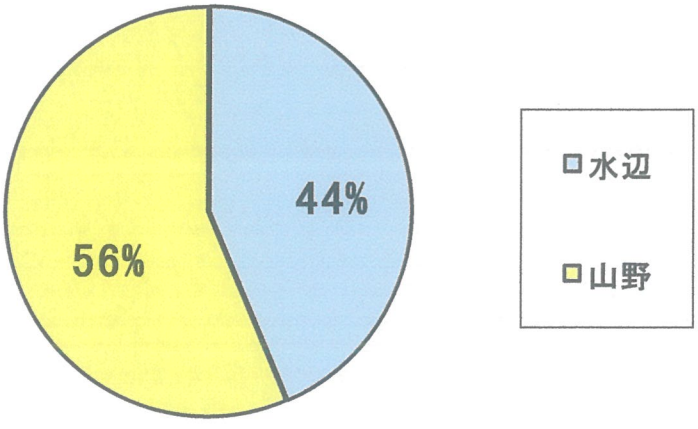


図3-2 環境別の個体数比率

(6) 月別の記録

表3 月別の記録（野鳥ごよみ）

R:留鳥　S:夏鳥　W:冬鳥　T:旅鳥

200羽以上　100～199羽

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	季節区分
	平均種類数	20.1	19.1	19.1	20.8	21.0	21.1	18.8	16.0	16.2	18.2	19.4	19.8	229.5	
	種類数	59	56	61	63	60	57	56	49	50	49	52	60	672	
	個体数	3929	3476	2920	2075	1694	1603	1665	1199	1462	2423	3496	3669	29611	
4	ヤマドリ											2		2	R
5	キジ			1	1		1							3	R
24	オシドリ	746	989	632	366	1	1	33	38	91	757	1190	650	5494	W
27	ヨシガモ										1			1	W
28	ヒドリガモ	46	50	39	5					5	47	71	21	284	W
29	アメリカヒドリ				2									2	W
30	マガモ	1057	794	628	152	4		1	6	10	54	671	779	4156	W
32	カルガモ	233	76	84	64	54	39	55	53	85	73	150	132	1098	W
34	ハシビロガモ										1		1	2	R
35	オナガガモ	1		2	1						7			11	W
36	シマアジ			2										2	W
38	コガモ	77	54	51	16	6	3	2		1	15	78	53	356	W
42	ホシハジロ	10	8										32	50	W
46	キンクロハジロ	13	18	3	12	3						10	24	83	W
47	スズガモ												1	1	W
59	カワアイサ	2	5										2	9	W
62	カイツブリ	3	1	6	6	7	3	3	6	8	10	9	7	69	W
66	ハジロカイツブリ										3			3	W
74	キジバト	10	11	12	23	18	33	29	34	41	27	11	7	256	R
78	アオバト						4	2						6	R
127	カワウ	2	12	56	69	89	61	101	71	102	49	15	15	642	R
144	アオサギ			2	10	32	40	84	131	162	105	13	1	580	R
146	ダイサギ	2		1				1	2	1				7	R
147	チュウサギ									1				1	R
148	コサギ		1						1	2			1	5	S
174	バン									1		1		2	R
175	オオバン	3	1	1	1							8	7	21	R
184	ジュウイチ							1						1	R
185	ホトトギス					3	6	5	1					15	S
187	ツツドリ					2								2	S
188	カッコウ					2	10			1				13	S
212	ヤマシギ				1									1	S
239	クサシギ								1					1	W
244	イソシギ									1				1	T
340	ハチクマ								1					1	R
342	トビ	15	17	17	13	22	13	20	17	15	8	11	20	188	S
355	ハイタカ												1	1	R
356	オオタカ	1	1	2	1	1			1	1	1			9	R
357	サシバ						1							1	R
358	ノスリ	3	3	10	4	3	2	3	1				3	32	S
378	アカショウビン						1							1	R
383	カワセミ	1				1	1	4	4	9	2	3	5	30	S
385	ヤマセミ					1		2	1		1			5	R
390	コゲラ	68	69	67	68	36	39	43	27	40	46	42	63	608	R
393	アカゲラ	29	32	29	40	37	49	35	67	59	58	31	15	481	R
397	アオゲラ	7	9	10	24	35	16	9	4	13	11	3	1	142	R
401	チョウゲンボウ				2									2	R
407	ハヤブサ										1			1	R
412	サンショウクイ			1		42	45	9	26	1				124	W
418	サンコウチョウ					1	2							3	S
420	モズ	5	3	1		3	2	1		2	10	5	2	34	R
427	カケス	57	31	56	52	7	7	3	4	15	96	99	80	507	R
429	オナガ						1							1	R
435	ハシボソガラス	18	26	10	23	9	12	5	7	9	7	19	4	149	R

	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
436	ハシブトガラス	27	22	39	32	30	28	26	18	30	31	32	25	340	R
438	キクイタダキ		3								0	1		4	R
441	コガラ	20	16	30	16	4	7	21	17	32	39	17	24	243	R
442	ヤマガラ	57	64	62	45	21	21	7	17	34	51	32	35	446	R
443	ヒガラ	15	10	16	12	18	25	16	28	41	26	24	12	243	R
445	シジュウカラ	230	210	267	224	151	140	109	103	152	180	163	259	2188	R
452	ヒバリ			3										3	R
457	ツバメ				15	7	11	33	20	54				140	S
461	イワツバメ			36	193	343	256	318	117	3	20			1286	S
463	ヒヨドリ	108	52	36	79	169	217	220	137	185	229	182	161	1775	R
464	ウグイス	2	1	4	74	76	56	38	7	9	21	10	8	306	R
465	ヤブサメ					1	1							2	S
466	エナガ	85	94	88	30	31	18	28	35	66	75	78	59	687	R
477	メボソムシクイ					3								3	S
479	エゾムシクイ				2		1	4						7	S
480	センダイムシクイ				9	26	22	2	3					62	S
485	メジロ	76	1	12	26	30	22	22	15	29	8	68	39	348	R
502	ゴジュウカラ	9	15	20	40	14	15	9	3	8	8	13	4	158	R
504	ミソサザイ			1	4					1				6	R
508	コムクドリ							4						4	T
512	カワガラス	1		1		1			1	3	1			8	R
514	トラツグミ	3	1						2					6	R
518	クロツグミ				2	17	18	17			1			55	S
521	シロハラ	18	15	7	1	1			1			1	11	55	W
522	アカハラ	1					2	1						4	W
525	ツグミ	44	28	19	6							6	64	167	W
534	コルリ					1	1							2	T
536	ルリビタキ	5	5	1	4	1	2	6		1		3	6	34	R
540	ジョウビタキ	29	22	10	5	1		3		2	8	39	35	154	W
553	サメビタキ							1						1	T
554	コサメビタキ					6	4	3	1					14	S
558	キビタキ				4	88	93	57	1	2				245	S
561	オオルリ				4	32	23	15						74	S
564	イワヒバリ	5	3	1		1							2	12	W
566	カヤクグリ	56	72	78	8	1						12	47	274	W
569	スズメ		1	6	7	10	5	12	1	3	8	9	7	69	R
573	キセキレイ	5	1	1	16	16	13	25	22	18	16	7	10	150	R
574	ハクセキレイ	5	9	7	12	5	18	24	31	31	26	15	11	194	R
575	セグロセキレイ	5	4	10	9	13	1	4	4	11	21	18	11	111	R
580	ビンズイ							1						1	R
586	アトリ	53	48	84	26							8	28	247	W
587	カワラヒワ	190	113	111	76	66	58	55	38	26	167	158	163	1221	R
588	マヒワ	3	10	8									7	28	W
592	ベニマシコ	18	7	4	3							7	9	48	W
595	オオマシコ	3											2	5	W
599	ウソ	5	4	6	1							2	1	19	W
600	シメ	2	4	16	3							2	1	28	W
602	イカル	3	49	8	13	11	6	11	13	14	8	11	3	150	W
610	ホオジロ	142	140	103	63	58	90	91	38	15	59	85	207	1091	R
617	カシラダカ	236	203	67	10						2	19	420	957	W
618	ミヤマホオジロ	28	14	3	3							3	29	80	W
623	ノジコ					1	1							2	S
624	アオジ	13	9	11	8						2	4	12	59	W
625	クロジ						3							3	W
628	オオジュリン												2	2	W
外1	コジュケイ				2			1						3	R
外21	ガビチョウ	18	15	21	32	21	33	30	22	16	26	25	28	287	R

(7) 月別変化

表 3 のデータを月別の変化が分かりやすいようにグラフに表し、図 4 に示した。

個体数は 10 月～3 月までの秋から冬にかけて多くの数が記録され、春から夏は少ない。季節による差が大きい。

種類数は冬鳥が飛来する冬から夏鳥が渡って来る初夏にかけて多い。7 月から 9 月の夏期は少ない。

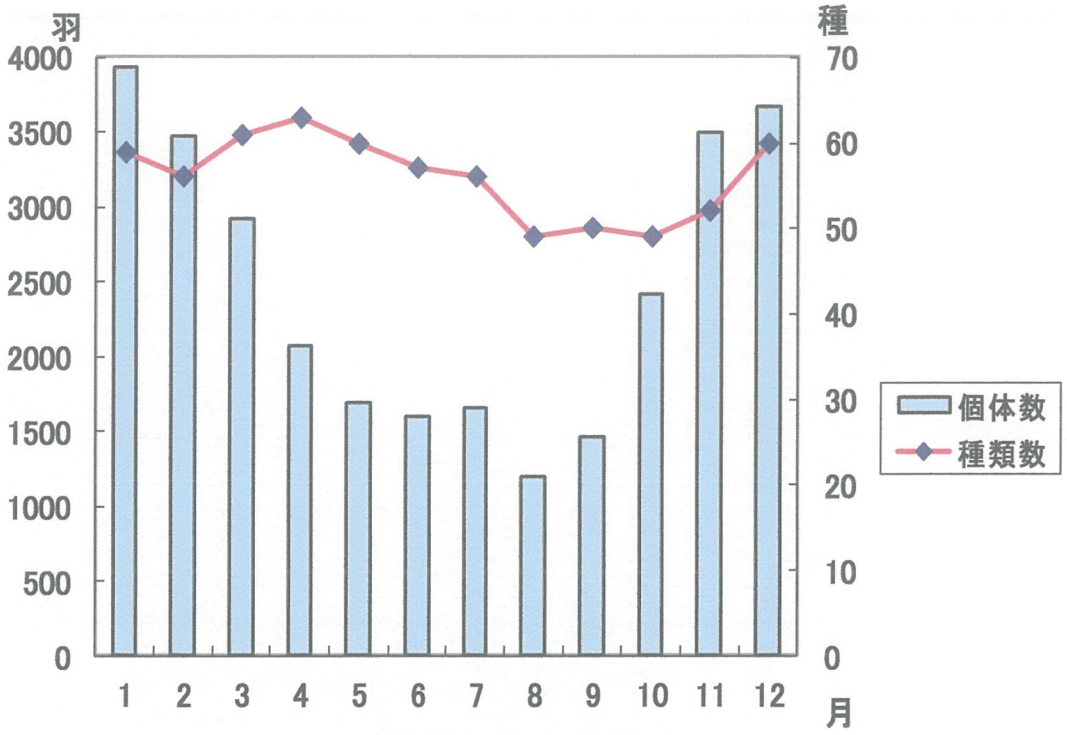


図4 個体数と種類数の月別変化

コラム1



この報告では毎月 1 回の野鳥調査の時に出会った種だけを集計しています。午前中の調査であり、夜行性の鳥たちとの出会いは少ないことになります。調査地内では、夜間にフクロウの声が聞こえることがよくあります。現在作成中の鳥類目録にはフクロウも含めた鳥たちを収録する予定です。

写真は早朝のフクロウです。

(8) 年別の記録

表4 年別の記録

清里湖のみ

	年	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
	種類数	55	68	64	62	66	69	53	65	69	70	68	67	111
	個体数	2078	2544	2557	2779	2188	2137	2047	2014	2177	3132	2776	3182	29611
4	ヤマドリ					2								2
5	キジ			2					1					3
24	オシドリ	575	142	637	1131	355	338	169	99	88	712	183	1065	5494
27	ヨシガモ	1												1
28	ヒドリガモ	30	49	94	9	2	33	17	6	21		22	1	284
29	アメリカヒドリ									2				2
30	マガモ	331	391	435	424	193	338	152	159	206	471	725	331	4156
32	カルガモ	114	155	120	80	65	91	89	58	42	50	129	105	1098
34	ハシビロガモ											1	1	2
35	オナガガモ				1				2	7		1		11
36	シマアジ												2	2
38	コガモ	73	7	25	14	36	36	38	29	2	9	45	42	356
42	ホシハジロ							5		11	29	5		50
46	キンクロハジロ					10	15	26	7			23	2	83
47	スズガモ												1	1
59	カワアイサ						1			2	5		1	9
62	カイツブリ	5	9	5	14		4	4	2	5	10	3	8	69
66	ハジロカイツブリ												3	3
74	キジバト	8	18	17	17	25	17	10	26	33	32	28	25	256
78	アオバト								1	1	1	2	1	6
127	カワウ	24	28	12	23	34	27	69	103	52	85	93	92	642
144	アオサギ	54	57	59	58	24	33	53	25	42	75	53	47	580
146	ダイサギ		1						1	1	1	3		7
147	チュウサギ						1							1
148	コサギ			1			1				1	2		5
174	バン				1							1		2
175	オオバン								6	3	3		9	21
184	ジュウイチ						1							1
185	ホトトギス	1	1	2	1	1	1		3	1			4	15
187	ツツドリ						1				1			2
188	カッコウ		2	1		4	1				3		2	13
212	ヤマシギ					1								1
239	クサシギ										1			1
244	イソシギ						1							1
340	ハチクマ										1			1
342	トビ	8	13	10	9	15	23	17	14	21	19	18	21	188
355	ハイタカ						1							1
356	オオタカ		1		1			4			1		2	9
357	サシバ	1												1
358	ノスリ	3	1	2		1	3	3	5	1	5	4	4	32
378	アカショウビン									1				1
383	カワセミ		8	2	1		1	1	3	3	2	5	4	30
385	ヤマセミ				1	1		1	1		1			5
390	コゲラ	11	63	37	43	53	51	48	63	60	58	59	62	608
393	アカゲラ	6	37	35	27	49	35	58	44	49	46	51	44	481
397	アオゲラ	6	8	8	15	9	11	10	13	13	17	18	14	142
401	チョウゲンボウ		1				1							2
407	ハヤブサ											1		1
412	サンショウクイ	1	3	4	7	7	10	9	12	11	23	14	23	124
418	サンコウチョウ				1					1			1	3
420	モズ		3			2	5	4	6	6	1	5	2	34
427	カケス	10	24	32	27	62	27	56	43	93	39	26	68	507
429	オナガ					1								1
435	ハシボソガラス	15	25	9	18	5	27	5	7	12	2	12	12	149
436	ハシブトガラス	4	22	38	21	27	25	35	32	35	35	29	37	340

清里湖

	年	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
438	キクイタダキ							2				2		4
441	コガラ	10	32	20	17	42	35	23	15	14	15	9	11	243
442	ヤマガラ	23	47	36	40	30	31	49	47	36	31	48	28	446
443	ヒガラ		45	27	15	23	33	34	27	13	8	7	11	243
445	シジュウカラ	27	149	173	166	199	153	219	195	203	246	266	192	2188
452	ヒバリ	1				1					1			3
457	ツバメ	9	9	2	7	12	10	1		5	21	7	57	140
461	イワツバメ	102	193	150	77	80	80	59	104	180	106	98	57	1286
463	ヒヨドリ	68	195	93	113	142	157	172	158	180	174	153	170	1775
464	ウグイス	14	36	30	20	19	23	12	19	30	29	37	37	306
465	ヤブサメ			1	1									2
466	エナガ	14	105	45	32	34	43	68	47	78	75	76	70	687
477	メボソムシクイ		1	1			1							3
479	エゾムシクイ		2				1		1	3				7
480	センダイムシクイ	3	4	2	2	8	10	7	6	4	6	7	3	62
485	メジロ	1	231	6	2	9	8	5	6	11	38	16	15	348
502	ゴジュウカラ		15	6	19	16	16	13	9	10	21	15	18	158
504	ミソサザイ			1		1		1		2		1		6
508	コムクドリ		4											4
512	カワガラス		2		1			2		3				8
514	トラツグミ		2		1	1	1				1			6
518	クロツグミ	4	5	5	6	5	1	11	6	5	3	2	2	55
521	シロハラ	1	7	5	5	6	2	5	4	3	6	5	6	55
522	アカハラ			1						2	1			4
525	ツグミ	4	10	14	4	16	7	17	13	40	17	13	12	167
534	コルリ			1								1		2
536	ルリビタキ			4		2		4	3	1	10	5	5	34
540	ジョウビタキ	7	15	9	10	17	8	11	18	12	17	12	18	154
553	サメビタキ					1								1
554	コサメビタキ		3	1	1			1	2	3	1	2		14
558	キビタキ	3	12	13	15	8	18	15	21	31	36	30	43	245
561	オオルリ	2	9	12	4	5	8	7	4	4	8	4	7	74
564	イワヒバリ	6	2		1	2					1			12
566	カヤクグリ	57	31	22	28	33	11	13	11	7	15	12	34	274
569	スズメ	8	9	3	3	2		1	2	9	12	8	12	69
573	キセキレイ	14	5	13	6	14	12	11	14	26	8	19	8	150
574	ハクセキレイ	6	24	18	12	9	15	15	22	12	24	18	19	194
575	セグロセキレイ	8	11	11	6	14	12	8	5	11	5	13	7	111
580	ビンズイ		1											1
586	アトリ	2	4	3		28	46	10	77	32	44	1		247
587	カワラヒワ	102	108	76	45	140	67	76	50	154	150	158	95	1221
588	マヒワ	1		1	2	1	2	1	1	7	5	1	6	28
592	ベニマシコ	3	2			8	8	3	6	4	3	7	4	48
595	オオマシコ						1				4			5
599	ウソ		4	2	6	1	2		2			1	1	19
600	シメ		14	2	1		1	1	2	1	3		3	28
602	イカル	5	16	8	5	4	3	9	52	14	16	5	13	150
610	ホオジロ	141	72	120	64	146	75	82	80	93	71	71	76	1091
617	カシラダカ	92	7	15	66	68	41	162	173	89	136	45	63	957
618	ミヤマホオジロ	10	12	3	3	8	9	9	14			6	6	80
623	ノジコ									2				2
624	アオジ	27	2	6	6	5	1	6	3			1	2	59
625	クロジ					3								3
628	オオジュリン		2											2
外1	コジュケイ	3												3
外21	ガビチョウ	19	16	9	23	41	25	19	24	18	25	33	35	287

(9)　経年変化

表４のデータを年ごとの変化が分かりやすいようにグラフに表し、図５に示した。個体数は年ごとの差が大きい。これはカモたちの大きな群れと出会い、記録されたか、どうかによる差が大きい。特に、オシドリやマガモは大きな群れで行動する場面が見られた。種類数は年ごとの差は少ない。

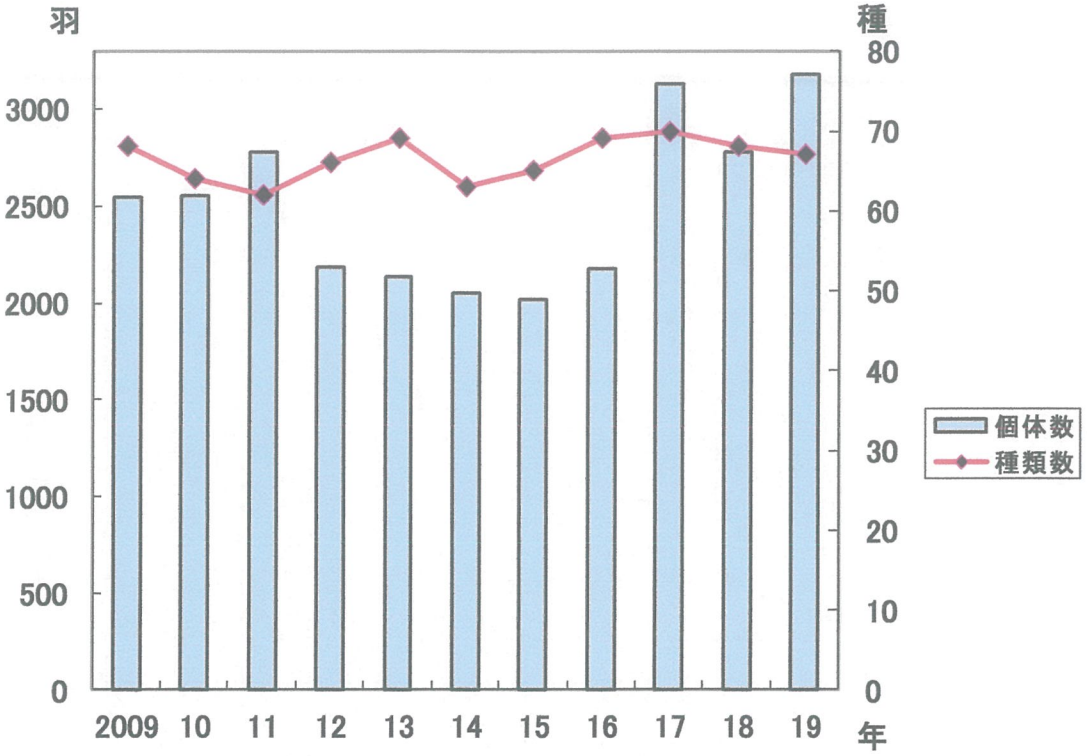


図5 個体数と種類数の経年変化

コラム2



調査地がある北杜市には、今、２つの環境問題があります。ソーラーパネル設置の乱立と高速道路の建設計画です。豊かな自然環境にあこがれて移住して来た人も多く、反対運動が起っています。野鳥たちの生息にとってもプラスにはならないでしょう。Today Birds , Tomorrow Men 鳥たちが生きられない環境は人間にとっても良い環境ではありません。

(10) 山梨県レッドデータブックの鳥類

2地点で記録された野鳥は15種類である。サンショウクイ、ミヤマホオジロは比較的多く記録されている。7種は1回だけの観察である。両方の調査地で記録されたのは6種であった。これは調査地の環境が異なり、生息条件の違いによるものである。

① アカショウビン
ブッポウソウ目カワセミ科　絶滅危惧ⅠB類　清里湖1回1羽

② ハチクマ
タカ目タカ科　絶滅危惧Ⅱ類　清里湖1回1羽

③ ハイタカ
タカ目タカ科　絶滅危惧Ⅱ類　清里湖1回1羽

④ ハヤブサ
ハヤブサ目ハヤブサ科　絶滅危惧Ⅱ類　清里湖1回1羽

⑤ オオタカ
タカ目タカ科　準絶滅危惧　清里湖8回8羽　井富1回1羽

⑥ サシバ
タカ目タカ科　準絶滅危惧　清里湖1回1羽

⑦ ヤマセミ
ブッポウソウ目カワセミ科　準絶滅危惧　清里湖5回5羽

⑧ サンショウクイ
スズメ目サンショウクイ科　準絶滅危惧　清里湖32回56羽　井富28回68羽

⑨ トラツグミ
スズメ目ヒタキ科　準絶滅危惧　清里湖2回3羽　井富3回3羽

⑩ ミヤマホオジロ
スズメ目ホオジロ科　準絶滅危惧　清里湖10回24羽　井富18回56羽

⑪ オオマシコ
スズメ目アトリ科　情報不足　清里湖1回2羽　井富2回3羽

⑫ ヤマシギ
チドリ目シギ科　情報不足　井富1回1羽

⑬ クロジ
スズメ目ホオジロ科　情報不足　井富1回3羽

⑭ サンコウチョウ
スズメ目カササギヒタキ科　準絶滅危惧　清里湖1回1羽　井富2回2羽

⑮ ノジコ
スズメ目ホオジロ科　準絶滅危惧　井富2回2羽